# 5 Excel で帳票を作 成したい!

5.1	計量データを帳票に書き込みたい!	5-3
5.2	帳票に日付/時刻を書き込みたい!	.5-53
5.3	帳票に矢印を書き込みたい!	.5-57
5.4	帳票に起動元局名を書き込みたい!	.5-62
5.5	アクション動作(帳票作成)の順序を整理したい!	.5-65
5.6	帳票に起動ボタンを配置したい!	.5-72
5.7	帳票に QC 図を配置したい!	.5-74
5.8	制限事項	.5-79

『Pro-Server EX』では、従来の「Excel で報告書を作成」アクションを簡易化・高機能化した「Excel 帳票」アクションを新たにサポートしました。

これにより、データ収集や各種処理作業を従来に比べ、より簡単に行うことができるようになりました。

この章では、帳票作成に使われる代表的な機能として、「データロギング」機能について説明します。

また『Pro-Server EX』では、帳票作成のための機能として、「データロギング」機能の他、以下の機能が搭載されています。

デバイスデータを Excel でモニタする
 「6.1 デバイスの値を Excel 上でモニタしたい!」

読み込んだデバイスデータを修正して元のデバイスにデータを戻す
 「6.2 一度読み込んだデータを修正して元に戻したい!」

- GPのログデータやキャプチャデータをExcelに書き込む
   「第9章 GPのログデータをExcelにまとめたい!」
- Excel のデータを接続機器に書き込む
- <sup>(3)</sup>「第 11 章 Excel のデータを接続機器に書き込みたい!」

# 5.1 計量データを帳票に書き込みたい!

#### 5.1.1 計量データを帳票に書き込んでみよう!

#### 【動作例】

接続機器のデバイス(ワードデバイス:アドレス「D01」、「D02」、「D50」、「D51」)4個の値を1時間 間隔で読み出し、帳票に書き込む

- **MEMO** ここでは、『Pro-Server EX』に付属しているテンプレートのサンプルを使用して帳票の書 き込みを行います。
  - 使用する帳票テンプレートに書き込まれるデータの詳細については、次ページ「■使用 するテンプレートのサンプルについて」をご覧ください。



この節では、例として、上記の動作(アクション)を行うための設定を順番に説明します。

## ■ 使用するテンプレートのサンプルについて

帳票を作成するためには、作成する帳票のもととなるテンプレートを作成する必要がありますが、 『Pro-Server EX』では、いろいろな目的に応じたテンプレートのサンプルを用意しています。 ここでは、下記のサンプルを帳票テンプレートとして使用します。

	А	В	С	D	E	F	G
1		Excel26 計量	<b>己デ</b> ータ	管理板			
2							
3		日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23	ļ						

テンプレートの各列に書き込まれるデータの内容は次の通りです。

項目	デバイス	内容
日時	—	パソコンの日付/時刻を書き込みます。(タイムスタンプを使用)
タンク名称	D01	デバイスデータを文字列(タンク名称)に変換し、書き込みます。 デバイスデータ「1」:タンクA デバイスデータ「2」:タンクB デバイスデータ「3」:タンクC
計量液種	D02	デバイスデータを文字列(計量液種)に変換し、書き込みます。 デバイスデータ「1」:溶液1 デバイスデータ「2」:溶液2 デバイスデータ「3」:溶液3
設定値	D50	デバイスデータをそのまま書き込みます。
実績値	D51	デバイスデータをそのまま書き込みます。

MEMO

報告書のテンプレートについては、約30種類ご用意しています。

- ーから作成することもできますし、サンプルのテンプレートをカスタマイズすることも 可能です。
- QC図としてデータを整理することができます。詳細につきましては、「5.7 帳票にQC図を配置したい!」をご覧ください。

## 【設定手順】

1	文字列置換テーブルの作成	デバイスデータを文字列に置換するためのテー ブルを作成します。
2	『Pro-Studio EX』の起動	『Pro-Studio EX』を起動します。
3	参加局の登録	パソコンと GP を参加局として登録します。
4	シンボルの登録	データを読み出す接続機器のデバイスをシンボ ルとして登録します。
5	帳票テンプレートと出力ファイルの指定	以下の項目を設定します。 • テンプレートファイルの指定(白紙テンプ レート作成)
		• 出力ファイルの指定
6	帳票テンプレートの内容設定	帳票テンプレートにデータを書き込む条件を設 定します。
	+	
7	アクション動作局 / 処理完了通知の設定	アクションの動作局およびアクションが実行さ れたことの通知の有無を設定します。
8	設定内容の確認	設定内容一覧画面で、設定した内容を確認しま す。
	+	
9	ネットワークプロジェクトファイルの保 存	設定した内容をネットワークプロジェクトファ イルとして保存し、リロードします。
	+	
10	ネットワークプロジェクトファイルの転 送	保存したネットワークプロジェクトファイルを GP に転送します。
	+	
11	アクションの実行	設定した起動条件が有効になると、接続機器の データが帳票にロギングデータとして書き込ま れることを確認します。

#### ■ 文字列置換テーブルの作成

デバイス「D01」(タンク名称)および「D02」(計量液種)の値を文字列に置換するためのテーブル を作成します。 文字列置換テーブルの詳細については、「■データの文字列置換について」をご覧ください。

**1**『Microsoft Excel』を起動し、下記の文字列置換テーブルを作成します。 <デバイス「D01」の文字列置換テーブル>

	A	В	С	D
1	開始値	終了値	文字列	
2	1		タンクA	
3	2		タンクB	
4	3		タンクC	
5				

#### <デバイス「D02」の文字列置換テーブル>

	A	В	С	D
1	開始値	終了値	文字列	
2	1		溶液1	
3	2		溶液2	
4	3		溶液3	
5				

**2**作成後、パソコンのデスクトップに、それぞれのファイル名「convert\_D01.xls」、「convert\_D02.xls」として保存します。

以上で、文字列置換テーブルの作成は終了しました。

#### ■『Pro-Studio EX』の起動

『Pro-Studio EX』を起動します。

起動方法の詳細については、「第3章 かる~く Pro-Server EX を体験してみませんか?」をご覧ください。

## ■ 参加局の登録

起動条件(トリガ)となるパソコンとGPを、参加局として登録します。 参加局の詳細については、「第30章 参加局登録について」をご覧ください。



局名	: PC1
IPアドレス	: 192.168.0.1



局名	: AGP1
IPアドレス	: 192.168.0.100
接続機器情報	

設定例

参加局	設定項目	設定例
1811-11.	局名	PC1
	IP アドレス	192.168.0.1
	種類	GP3000 シリーズ
GP	局名	AGP1
	IP アドレス	192.168.0.100

## ■ シンボルの登録

デバイスデータを読み出す接続機器のデバイスアドレスをシンボルとして登録します。 シンボルの詳細については、「第 31 章 シンボル登録について」をご覧ください。



#### 設定例

設定項目	設定内容				
シンボル名	タンク名称 計量液種		設定値	実績値	
データタイプ	16 ビット(符号付き)				
シンボル登録する デバイスアドレス	接続機器 (PLC1) 接続機器 (PLC1 の「D01」 の「D02」		接続機器 (PLC1) の「D50」	接続機器 (PLC1) の「D51」	
データ個数	1	1	1	1	

#### ■ 帳票テンプレートと出力ファイルの指定

帳票テンプレートと出力ファイルの指定を行います。
出力ファイルとは、起動条件が成立した場合に帳票テンプレートのデバイスデータを反映し、ファイルとして出力したものです。
この場合、帳票テンプレートにデバイスデータは反映されません。
詳細については、「5.1.2 設定ガイド」をご覧ください。

MEMO・ここで紹介している【動作例】では、『Pro-Server EX』に付属しているテンプレートを使用します。
 手順としては、まず新規作成のテンプレートを用意し、その後『Pro-Server EX』で用意されているサンプルのテンプレートをインポートします。

## 設定例

設定	定項目	設定内容
テンプレートの指定 テンプレートファイル		C: ¥Documents and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥templete.xlt
	フォルダ名	C: ¥Documents and Settings ¥Administrator ¥デスクトップ
出力ファイル	ファイル名	計量データ .xls
	出力ブックを表示した 状態から開始する	チェックあり

1 状態バーの [機能] アイコンをクリックします。

🇞 Pro-Studio EX 🛛 ?.npx					
ファイル(E) 編集(E)	ツール( <u>T</u> ) プログラミング	「補助(P) 設定(5) <del>ハルブ(日)</del>			
💋 スタート <b>&gt;&gt;</b>	🔊 参加局 ン	🌔 эржи 😕 ≷ 🕅 🥵	🔡 保存		
- シンボル		局名 AGP1	機器:		
グループ化	グループ解除	یر المحمد میں	— □ ガローバルン		
挿入	削除	2 1.4			

2 画面左のツリー表示から、[アクション]を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

饕 Pro-Studio EX	?.пря	
ファイル(E) 編集(E)	) ツール( <u>T</u> ) プログ:	ラミング補助(P) 設定(S
💋 ८४-२ 🔊	> 🐚 参加局	ン 눧 シンボル
道加 📐	インポート	
編集	削除	アクション
<ul> <li>アクション</li> <li>起動条件</li> <li>データ転送</li> <li>デバイスキャ</li> </ul>		『Pro-Si り、Access 理をおこな: 『Pro-S 処理のこと

**3** [アクションの種類] のリストボタンをクリックし、「EXCEL 帳票」を選択します。 続いて、[アクション名] に設定するアクション名「帳票作成」を入力します。

**MEMO** • [アクション名] には、任意のアクション名を設定できます。

アクション名/パラメータの設定	×
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してくださ	, <b>\</b> o
アウションの種業 EXCEL帳票 EXCEL帳票 CSVファイルへも、なを書き込	
アクション名 GP JPEGデータのアップロード GP ログデータアップロード Mailでデータ達得言	<del>- 友を書き込む</del>
データベースハのノックロート データベースからのダウンロー	<u>۲</u>

4 [ここをクリックしてアクションのパラメータを設定してください。] ボタンをクリックします。

アクション名/パラメータの設定
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票
🔲 旧バージョンのPro-Serverのアクションを表示する
アクション名 帳票作成
ここを クリックして アクションの パラメータを設定してください。
次へ キャンセル

- 5 Excel テンプレートと出力ファイルに関する設定を行います。
  - 1) [テンプレートファイル] の [参照] ボタンをクリックし、「ファイル選択」画面の [ファイル名] に「template」と入力したあと、[開く] ボタンをクリックします。

Excel で帳票を作成		
		Version 1.10
「テンブレートの指定――		
帳票の元となる、Excelの	)テンプレートファイル名を指定してください。 ♀!ナーテーマテンゴルニトコーイルが二の名前で一ピーされます。	
テンプレートを新規作成	する場合は、そのファイルの名前を指定してください。	
テンプレートファイル		参照
		V
	テンプレートの編集	
L		

ファイル選択			? ×
ファイルの場所型:	🗀 デスクトップ		<b>-</b>
またした ま近使ったファイル で デスカトップ マイドキュメント マイニンピュータ マイネットワーク	Convert_D01.xls Convert_D02.xls Convert_D02.xls ファイル名仏): ファイルの種類①:	template Microsoft Excel テンプレート及びブック(*,XLT; *,XLS) マ 道語の時間日本、(1) は 7月8((7))	開(Q) 米ャンセル
		~ 読み取り専用ファイルとして開く(R)	

2) [フォルダ名] の [参照] ボタンをクリックし、出力ファイルを保存するフォルダ「デスクトップ」、[ファイル名] に「計量データ .xls」を設定します。

ー出力ファイル テンプレートファイバ 表示されます。	以こは設定情報が保存されます。実際の出力結果は下記のファイルに −
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrator¥デスクトップ 参照
ファイル名	計量データxls デフォルトに戻す
☑ 出力ファイルを アクション実行 (Excelの上書き)	表示した状態から開始する 寺、出力ファイルの保存を実行しない。 保存、自動保存の機能を使用してください。)
	OK キャンセル

3) [出力ファイルを表示した状態から開始する] をチェックします。

ー出力ファイル テンプレートファイル 表示されます。	コは設定情報が保存されます。実際の出力結	課は下記のファイルに
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrato	or¥デスクトップ 参照
ファイル名	計量データxls	デフォルトに戻す
、出力ファイルを表 アクション実行時、 (Excelの上書き保	示した状態から開始する。 - <del>出力ファイルの保存を実</del> 行しない。 - 存、自動保存の機能を使用してください。)	
		ОК <b>+</b> +уън

## MEMO ・ [出力ファイルを表示した状態から開始する] は、出力ファイルを表示した状態でデー タの読み出し/書き込みを開始しますので、すぐにデータを確認したい場合などに有効 です。

## ■ 帳票テンプレートの内容設定

データを帳票に書き込むための、帳票テンプレートの内容を設定します。 詳細については、「5.1.2 設定ガイド」をご覧ください。

		「タンク名	称」の							
	対象セル範囲「計量液種」の「設定値」の「実績値」の									
		(タイムスタン	ノプあり	<ol> <li>対象セル</li> </ol>	√範囲 対象セ	N	√範囲 対象セ	1	範囲	
				1						
	А	в		с	D	1	E	$\uparrow$	F	
		Excel 26	글는 등	まずね	答理垢			1		-
1			019		E II IX		1			
2						_	1			
3		日時		タンク名称	計重液種		設定値		実績値	
4										
5										
6						L				
7	-					-				
8	-					⊢				
9						⊢				
11						⊢				
12						F				
13										
14						Γ				•
15										ロギング
16										ロイング
17										211-1
18						L				
19										
20						_				
21						-				
22						H				
23				1	P.	<b> </b>		_		

**MEMO** 『Microsoft Excel 2002』以降の製品で本機能を使用する場合、制限事項があります。
 詳細については、「5.8 制限事項」をご覧ください。

1 [テンプレートの編集] ボタンをクリックします。

xcel で帳票を作成	
	Version 1.10
- テンプレートの指定	
- 帳票の元となる、Excelのテンプレートファイル名を指定してください。	
ウィザートを使用した場合は、デーマテンフレートファイルかとの名前でコピーされます。 テンプレートを新規作成する場合は、そのファイルの名前を指定してください。	
テンプレートファイル C <sup>¥Documents</sup> and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥1	参照
	xcel で帳票を作成 -テンプレートの指定 -デンプレートの指定 - 「マデンプレートファイルなど指定してください。 ウィザードを使用した場合は、テーマデンプレートファイルがこの名前でコピーされます。 テンプレートを新規作成する場合は、そのファイルの名前を指定してください。 テンプレートファイル - - - - - - - - - - - - -

**2** [はい] ボタンをクリックします。

Excel Report Action
指定されたテンプレートブックは見つかりませんでした。新規にブックを作成しますか?

白紙の帳票テンプレートが表示されます。

Microsoft Excel - template.xlt	:						_ 🗆 ×
■] ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	挿入① 書式②)ツ	ール(T) データ(D)	ウィンドウW) へ	ルプ( <u>H</u> ) Adob	e PDF( <u>B</u> ) Exc	xelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
🗅 🚅 🖪 🔒 🎒 🖏 🖤	🔏 🖻 💼 🗠 -	🤮 Σ 🖅 👌	🛍 🛛 🙄	MS Pゴシック	• 11	• B I	u 重 🕴
	ria 🗛 💊 🔤						
] 🖷 🕼 🦓 🕼 🕷 🖉 🔤	# 8 8 1						
A1 •	=						
A B	C D	E	F	G	Н	I	
2							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
15							
16							
17							
18							
19 M A N Shoot1							

- 3 付属の帳票テンプレートを開きます。
  - 1) メニューバーの [Excel アクション] をクリックし、[ツール] → [サンプルの挿入] を選択しま す。



2) 「MeasurementData.xlt」を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

ファイルを開く				? ×
ファイルの場所型:	🔁 template		- 🕑 🤣 📂 🛄-	
は し し し し し し し し し し し し し	Andon.xlt Andon.xlt FirstRunRateTran: FirstRunRa	sitGraphPerDay.xlt sitGraphPerMonth.xlt sitGraphPerWeek.xlt sitGraphPerYear.xlt ement.xlt ansitGraph.xlt xlt fransitGraphPerDay.xlt fransitGraphPerMonth.xlt fransitGraphPerWeek.xlt	MachineStopTimeTransitGraphPerYear.xlt ManpowerGraph.xlt OperationRecord.xlt ProductInProcessStockTransitGraph.xlt ProductionCostTransitGraph.xlt ProductionCostTransitGraphPerPerson.xlt ProductionCostTransitGraphPerPerson.xlt ProductManagementPerDay.xlt ProductManagementPerMonth.xlt ProductManagementPerWeek.xlt ProductManagementPerWeek.xlt ProductManagementPerYear.xlt Recipe_Excel.xlt	Safetyi StaffA: Standa Waster WorkM
	•			Þ
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	MeasurementData.×It		₩©
	ファイルの種類(工):	Excel(*.xit; *.xis)		
		_ 読み取り専用ファイル	RCC開(12)	1.

帳票テンプレートが表示されます。

Micro	soft Excel - template.xlt						_ 🗆 🗵
8 771	(ルE) 編集E) 表示V) 挿入(	♫ 書式@) ツール①	D データ( <u>D</u> ) ウィント	やし ヘルプ(田) 4	Adobe PDF( <u>B</u> ) Exc	eIアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
🗋 🗅 😅	🗋 🚅 🖶 🚑 🗔 🖤 🐰 🖻 💼 🕫 - 🍓 Σ ≉ 🛃 🛍 🕄 💘 MS ゴシック 🔹 🔹 関 🚍 义 党						» 🔁 »
- 	🌺 😭 🍇 👼 🔗 🙀 🛛	sy 💉 茸					
	B1 • = E	xcel26 計量デー	夕管理板				
A	В	С	D	E	F	G	
1	Excel26 計불	量データ	管理板				
2	HI I	/					
3	日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値		
4					Seise	1	
5						1	
6							
7							
8							
9							
10							
12							
13						]	
14							
15							
16							
17	N Sheet1 > = > = 1	<u> </u>	L		I	1	
コマンド							

4「タンク名称」エリアの設定を行います。

MEMO

•「時間」エリアについては、タイムスタンプ機能を使用して書き込みますので、設定す る必要はありません。

#### 設定例

設定項目		設定内容		
参加局		AGP1		
機器名		PLC1		
デバイスアドレス / シ	<i>、</i> ンボル・グループ	タンク名称		
対象セル範囲		$B4 \sim C23$		
ロギング方向		縦		
タイムスタンプ		前につける(「PC 時間を使用する」)		
読込み時デバイス値	テーブルが格納されて いる Excel ブック	C:¥Documents and Settings¥Administrator¥デスク トップ¥convert_D01.xls		
換する	テーブルが格納されて いるセル	Sheet1 A2		
セルがいっぱいになった時の動作		スクロール		
起動条件		一定周期		
周期		3600000ms(1 時間)		

1) Excel テンプレートの [デバイス ロギング エリア] アイコンをクリックします。

Micro	Microsoft Excel - template.xlt							
771	ル(E) 編集(E) 表示(⊻) 挿入(	) 書式(②) ツール(]	D データ( <u>D</u> )					
🗅 🖻	□ <u>j ⊆ </u>							
] 🤬 健	👋 🜮 🍇 🖉 🔗 🗰 🖥	🞓 🖈						
	😼 🔹 = Ex	:cel26 計量デー	夕管理板					
A	В	С	D					
1	Excel26 計量	量データ	管理					
2								
3	日時	タンク名称	計量液					
4								



メニューの [Excel アクション] から、「デバイス ロギング エリア」を選択しても、同様の画面が表示されます。



2) [参加局]のリストボタンをクリックし、データ転送元となる局名「AGP1」を選択します。

電デバイス ロギ	15					_ 🗆 🗙
動作設定 起動	▶ 条件設定					
ーデバイス	、設定					
	参加局	(起動元局)	<b>•</b>	機器名		-
デルシン	ドイスアドレスノ /ボル・グループ	AGP1 (起動元句)	<b></b>	デバイス数	β <u></u>	
	データタイプ	16ビット(符号付き)				
マ デ □ 起	バイスアドレス/シ 動元局名を付か	ンボル名を付加する Dする	*: (J	不連続なメモ! 、グループシン	リのデータを指定する場合 νボルを使用してください。	

3) [機器名] のリストボタンをクリックし、データ転送元となる接続機器名「PLC1」を選択します。

電デバイ	ス ロギング						_ 🗆 ×
動作設	定起動条件設定						
	ーデバイス設定 参加局 デバイスアドレス/ シンボル・グループ	AGP1	<u> </u>	機器名 デバイス数	#INTERNAL PLC1		
	データタイプ ▼ デバイスアドレス/シ: ■ 起動元局名を付加	16ビット(符号付き) ンボル名を付加する する	* (t	不連続なメモ 、グループシ)	リのデータを指定す ンボルを使用してく	おまましん あっし おうしん あっし おうしん おうしん しんしん おうしん しんしん おうしん ちゅうしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん	

4) [デバイスアドレス/シンボル・グループ]のリストボタンをクリックし、ロギングするデータのシンボル名「タンク名称」を選択します。

運デバ	イス ロギング						- IX	
動作調	設定 起動条件設定							
	デバイス設定参加局	AGP1	<b>.</b>	機器名	PLC1	•		5
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	<b>a</b>		∃- □ <del>- 1</del> 11.0 - <mark>(</mark> タンク	beet3			1
	データタイプ	16ビット(符号付き)		計量設定	液種之			
	✓ デバイスアドレス/シ □ 起動元局名を付加	ンボル名を付加する 1する	ò	実績	値			

[デバイス数] に、デバイス数「1」、データ型「16ビット(符号付き)」が自動的に設定されます。

5) [デバイスアドレス/シンボル名を付加する] がチェックされている場合は、チェックを外します。

電デバ	イス ロギング					_ 🗆 X
動作	設定 起動条件設定					
	デバイス設定					
	参加局	AGP1	•	機器名	PLC1	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	重タンク名称	V	デバイス数	β	3
	データタイプ	16ビット(符号付き)				
	「デバイスアドレス/シ 「記動元局名を付加	ンボル名を付加する 1する	*	不連続なメモ にグループシン	リのデータを指定する <sup>」</sup> レボルを使用してください	場合 い。

6) [対象セル範囲]のセル範囲指定ボタンをクリックします。

[	- レイアウト設定・		
	対象セル範囲	\$B\$1:\$1\$1  \$T=1(たわりの あいたわせんの くりい パラオ	
	ロギング方向	縦	
	ロギング数		
	タイムスタンプ	122345           2345           前に           GPの時間を使用『マ           後ろに	
	*グループシンボ	のレイアウトは固定になります。	

 マウスでデータをロギングするエリア(セル B4 ~ C23)をドラッグして指定したあと、[OK] ボ タンをクリックします。

Microsoft Excel - template.xlt						_ 🗆 🖂
] 図 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿	入① 書式(2) ツー	ル(Ⅲ) データ(Ⅲ) ウ₁	心ドウ₩ ヘルプ(出)	Adobe PDF( <u>B</u> ) E	Excelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
MS Pゴシック • 11 • B	IUEE	≣ ፼ %	,ぷぷ 雪	🗐 🖂 • 🤷 • 🛓	<u>A</u>	
1 🕼 🗊 👋 😭 🍇 🖉 🙀	💕 💣 🚊					
B4 <b>•</b> =						
B	С	D	E	F	G	Н
3 日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値		
4					1	
5					]	
6						
7						
8						
9	<u>範囲指定</u>		?	×		
10	範囲を指定し	てください。				
10						
12						
14	\$B\$4;\$C\$23			-		
15					1	
16		0	K +++>+		]	
17					]	
18						
19					1	
20	i				4	
21					1	
22					1	
ZO V A N Sheet1 = 2 = 1. = b (					1	- -
参照					NUM	

8) [ロギング方向] で、「縦」を選択します。

┌─レイアウト設定	
対象セル範囲	サンフル 下記はセルへ書込む場合のイメージです。 矢印はデータがログされる方向を示します。
*グループシンボルのレイアウトは固定になります。	<u>9;/;3;9</u> 7;8;9;#

[ロギング数]に、ロギング数「20」が自動的に設定されます。

9) [タイムスタンプ] で、「前に」を選択したあと、リストボタンをクリックし、「PC の時間を使用 する」を選択します。

	イアウト設定 ―――				
ż	対象セル範囲	\$B\$4:\$C\$23		サンフル	
[	コギング方向 ・	縦〇横		午前はデータがログされる方向を示します。	
(	コギング数 20	) 🚊			
5		はい C GPの時間を使用: GPの時間を使用: GPの時間を使用: C GPの時間を使用: C GPの時間を使用: C GPの時間を使用:	)	90000 1 2 3 4 5 900002 2 3 4 5 900003 3 4 5 6 900004 4 5 6 7 900004 4 5 6 7 900005 5 6 7 8 900006 6 7 8 9	
*.	クループンジボルのレイ	. パットは順定になります。 い	<u>ا</u>	9:00:07 7 8 9 10	

10) [読込み時デバイス値を特定の文字列に置換する] をチェックします。

<ul> <li>読込み時デバイス値を特定の文字列に置換する</li> <li>クリア後上書き ○ スクロール</li> <li>シート作成時指定されたセル範囲をクリアしてからはじめる</li> </ul>	◎ 改シート ◎ ループ
	OK キャンセル

「文字列置換テーブル設定」画面が表示されます。

11) [テーブルが格納されている Excel ブック]の[...] ボタンをクリックし、作成した文字列置換 テーブル「convert\_D01」を設定します。

文字列置換テーブル設定	×
デバイス値を特定の文字列に置換するためには、その置換 ルールを記載した変換テーブルが必要です。 そのテーブルの格納場所を指定してください。	
テーブルが格納されているExceヷック  C:¥Documents and Settings¥Administrator	
テーブルが格納されているセル(テーブルの左上 セル)	
Sheet A1 🔣	
OK キャンセル	

12) [テーブルが格納されているセル] にシート名を入力したあと、セル範囲指定ボタンをクリック し、文字列置換テーブルのシート名および左上のセル番号「A2」を指定します。

文字列置換テーブル設定	×
デバイス値を特定の文字列に置換するためには、その置換	
ルールを記載した友達ノーノルが必要しな。	
そのテーブルの俗称りあり」を指定していたとい。	
テーブルが格納されているExceビック	
C¥Documents and Settings¥Administrator	
テーブルが格納されているセル(テーブルの左上	
セルン 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	
Sheet1 \$A\$2	
OK キャンセル	



13) [OK] ボタンをクリックします。

14) [セルがいっぱいになった時の動作] で、「スクロール」を選択します。

▼ 読込み時デバイス値を特定の文字列に置換す	する C¥Documents and Settings¥Administrator¥デスクトップ¥c
セルがいっぱいになった時の動作 ・ ンート作成時指定されたセル範囲をワアしてお	○ クリア後上書き (スクロール) ○ 改シート ○ ループ) からはしめる
	OKキャンセル

15) [起動条件設定] タブをクリックします。

電デバイ	スロギング						_ 🗆 X
動作設	定起動条件設定人						
	- <del>7/1/2.202</del>						
	参加局	AGP1	•	機器名	PLC1	•	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	重タンク名称	<b>_</b>	デバイス数	1	÷	
	データタイプ	16ビット(符号付き)					
	<ul> <li>□ デバイスアドレス/シ</li> <li>□ 起動元局名を付加</li> </ul>	ンボル名を付加する 1する	*: (J	不連続なメモ (、グループシ)	リのデータを指定 ンボルを使用して	目する場合 【ください。	

「起動条件設定」画面が表示されます。

MEMO • Excel 上にボタンを配置し、これを起動条件にしてアクションを実行させることができます。

詳細については、「5.6 帳票に起動ボタンを配置したい!」を参照してください。



16) [新しい起動条件] ボタンをクリックします。

<b>ジ</b> デバイス ロギング	
動作設定起動条件設定	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
アクション エリア番号 0	
指定された起動方法(条件かボタン)が成立した時に、このエリアの動作を実行します。起動方法を 設定して(ださい。	
BXEOCVCCV10	
新しい起動条件、新しい起動ボタン	
レーレギング しょう	
編集 削除 編集 削除	
*	

17) [新しい起動条件] ボタンをクリックします。

記動条件設定
参加局
開じる

18) [起動条件名] に、起動条件名「帳票を作成する」を入力し、[局名] に、データ転送元となる局 名「AGP1」を選択します。



19) [条件 1] タブの [一定周期] ボタンをクリックし、周期「3600000ms」(1 時間)を設定して [OK] ボタンをクリックします。

条件1   起動条件を指	定してください。				
5	電源投入時		デバイスON中		条件式成立中
Ġ	指定時刻		デバイスOFF中	N.	条件式成立時
	一定周期		デバイスON時		相手局電源投入時
	デバイス変化時		デバイスOFF時	*	相手局電源切断時
周	期 3600000 <u>;</u> m				
□ 期間限定 □ Ξ 時	≝ 	0 <u>;</u> 時	0王分		
			詳細設定		ОК <b>р</b> ++>+211

20) [閉じる] ボタンをクリックします。

起動条件設定
アクションの起動条件を指定してください。
起動条件
新しい起動条件
■ 「「「「「」」 編集
参加局[AGP1
3600000msの周期で
開Uる <sub>人</sub>

21) [ロギング]の [起動条件]の空白行をクリックし、起動条件「帳票を作成する」を選択します。



22) [OK] ボタンをクリックします。

i	複数指定した場合、どれか1つでも成立すると実行します。
	より複雑な処理をおこなう場合はメニューの[Excelアクション]-[実行順序一覧]で設定 してください。
	OK ト キャンセル

以上で、「タンク名称」エリアの内容設定が終了しました。

5「計量液種」エリアの設定を行います。

#### 設定例

設定項目		設定内容		
参加局		AGP1		
機器名		PLC1		
デバイスアドレス / シ	・ンボル・グループ	計量液種		
対象セル範囲		$D4 \sim D23$		
ロギング方向		縦		
タイムスタンプ		っけない		
テーブルが格納されて 読込み時デバイス値 ・サウのホウトレア		C:¥Documents and Settings¥Administrator¥デスク トップ¥convert_D02.xls		
換する かるセル		Sheet1 A2		
セルがいっぱいになった時の動作		スクロール		

1) 4 の手順1) ~ 14) と同様の操作を繰り返し、上記内容を設定します。

2) [起動条件設定] タブをクリックします。

電デバ	イス ロギング						_ 🗆 🗙
動作	設定起動条件設定し						
	777172設定 5						
	参加局	AGP1	•	機器名	PLC1	•	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	計量液種	•	デバイス数	1	÷	
	データタイプ	16ピット(符号付き)					
	<ul> <li>□ デバイスアドレス/シ</li> <li>□ 起動元局名を付加</li> </ul>	ンボル名を付加する 1する	*: (J	不連続なメモ 、グループシン	リのデータを指 ノボルを使用し	定する場合 たください。	

3) [ロギング]の[起動条件]の空白行をクリックし、設定済みの起動条件「帳票を作成する」を選 択します。



4) [OK] ボタンをクリックします。

以上で、「計量液種」エリアの内容設定が終了しました。

6「設定値」エリアの設定を行います。

設定例

設定項目	設定内容
参加局	AGP1
機器名	PLC1
デバイスアドレス / シンボル・グループ	設定値
対象セル範囲	$E4 \sim E23$
ロギング方向	縦
タイムスタンプ	つけない
セルがいっぱいになった時の動作	スクロール

1) Excel の [デバイス ロギング エリア] アイコンをクリックします。

Micro	osoft Excel - template.xlt					
MS P	ゴシック 🔹 11 🔹 🖪 🖌	′⊻≣≣≣	🗄 💱 % ,	*.0 ;00 f≢ f≢	🛛 • 🙆 • 🛔	<u>A</u>
<b>8</b> 77	4μ(E) 編集(E) 表示(⊻) 挿入(	0 書式(0) ツール(	<u>1)</u> データ( <u>D</u> ) ウィント	やし ヘルプ田 4	Adobe PDF( <u>B</u> ) B	xcelアクション( <u>A</u> )
] 🕼 💕	V 🏘 💕 🍇 🖉 🔗 🗰 🗉	ge 😰 🚊				
	1×18 🗾 =					
A	В	С	D	E	F	G
1	Excel26 計量	量データ	管理板			
2						
3	日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値	
4						
E						

2) [参加局] のリストボタンをクリックし、データ転送元となる局名「AGP1」を選択します。

<mark>鋼テバイ</mark>	ス ロギング					_ 🗆 🗙
動作謬	定起動条件設定					
	デバイス設定					
	参加局	(起動元局)	<b>.</b>	機器名	<b>•</b>	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	AGP1 (起動方公司)	<b>_</b>	デバイス数	1	
	データタイプ	16ビット(符号付き)				
	<ul> <li>▼ デバイスアドレス/シ</li> <li>□ 起動元局名を付加</li> </ul>	ンボル名を付加する する	** (t	下連続なメモ 、グループシン	リのデータを指定する場合 ッボルを使用してください。	

3) [機器名]のリストボタンをクリックし、データ転送元となる接続機器名「PLC1」を選択します。

電デバイ	ス ロギング					_ 🗆 🗙
動作設	定起動条件設定					
	デバイス設定					1
	参加局	AGP1	<b>•</b>	機器名	#INTERNAL 💌	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ		•	デバイス数		
	データタイプ	16ビット(符号付き)				
	☑ デバイスアドレス/シ: □ 起動元局名を付加	ンボル名を付加する する	* (ქ	不連続なメモ t、グループシン	リのデータを指定する場合 ンボルを使用してください。	

4) [デバイスアドレス / シンボル・グループ]のリストボタンをクリックし、ロギングするデータのシンボル名「設定値」を選択します。

運デバイ	ス ロギング						
動作影	定起動条件設定						
	ーデバイス設定 参加局	AGP1	<b>.</b>	機器名	PLC1	•	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ データタイプ	<ul> <li>16ビット(符号付き)</li> </ul>	<b>▼</b>	⊡□-カル© タンク 計量	Sheet3 )名称 这種		
	<ul> <li>✓ デバイスアドレス/シ</li> <li>□ 起動元局名を付加</li> </ul>	ンボル名を付加する 1する		実績			

5) [デバイスアドレス/シンボル名を付加する] がチェックされている場合は、チェックを外します。

電デバイ	ス ロギング						_ 🗆 🗙
動作設	定起動条件設定						
	デバイス設定参加局	AGP1	<b>.</b>	機器名	PLC1	•	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	設定値	•	デバイス数	ļ1	Ξ	
	データタイプ	16ビット(符号付き)					
	「、デバイスアドレス/シ 記動元局名を付加	ンボル名を付加する	*	不連続なメモ に グループシン	リのデータを指定す レボルを使用してくた	る場合 ざい。	

(対象セル範囲]のセル範囲指定ボタンをクリックし、マウスでデータをロギングするエリア(セル E4~E23)をドラッグして指定したあと、[OK]ボタンをクリックします。

Microsoft Excel - template.xlt						_ 🗆 🗵
」図 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿	入邸 書式(2) ツー	ル(五) データ(血) ウィ	心ドウ( <u>₩</u> _ヘルプ( <u>H</u> )	Adobe PDF( <u>B</u> )	Excelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
] D 🛩 🗉 🔒 🖨 🖪 🖤 👗	🖻 💼 🗠 • 🤇	$\sum f_{\kappa} \sum f_{k}$	🗓 🝳 🄾 MS 🗇	ノック 👻 2	0 • <b>B</b> =	* 🔁 🕈
] 🤀 🚰 👹 🜮 💥 🖉 🛱	💕 💣 벌					
E4 💌 =	Excel26 計量デ	ータ管理板				
В	С	D	E	F	G	<u> </u>
1 Excel26 計量	<u> </u>	管理板				
2					-	
3 日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値		
4						
5	範囲指定		?	×		
6	1000 範囲を指定し	ってください。				
7						
8					4	
9	\$E\$4:\$E\$23			-		
10				.	1	
11			<u> キャンセル</u>	]		
13					1	
14					1	
15					1	
16					1	
17					1	•
◀ ▶ ▶  \Sheet1 <u>\ テンプレート</u> /					_	
参照		Γ			NUM	

7) [ロギング方向] で、「縦」を選択します。

ーレイアウト設定 ――		
対象セル範囲	\$E\$4\$E\$23 <u></u> 死 羅 0 横	サンフル 下記はセルへ書込む場合のイメージです。 矢印はデータがログされる方向を示します。
ロギング数		1 [2 [3 ]4]
915737 0 C	つけない 前に GPの時間を使用。 マ	2 3 4 5 3 4 5 6 4 5 6 7
*グループシンボルの	)レイアウトは固定になります。	5 6 7 8 6 7 8 9 7 8 9 #

8) [タイムスタンプ] で、「つけない」を選択します。

┌─レイアウト設定	
対象セル範囲 \$E\$4.\$E\$23 💦	サンフル
ロギング方向 💿 縦 🔘 横	关節はデータがログされる方向を示します。
ロギング数 20 🛨	11012141
タイムスタンプ いつけない 前に C 後ろに GPの時間を使用す <u> -</u>	2 3 4 5 3 4 5 6 7 5 6 7 8
*グループシンボルのレイアウトは固定になります。	6 7 8 9 7 8 9 #

9) [セルがいっぱいになった時の動作] で、「スクロール」を選択します。

□ 読込み時デバイス値を特定の文字列に置換する							
セルがいっぱいになった時の動作 ・ シート作成時指定されたセル範囲をクリアして	○ クリア後上書き	R <u>taden i</u>	0 政シート(	) ループ			
			OK	キャンセル			

10) [起動条件設定] タブをクリックします。

電デバイ	ス ロギング						_ 🗆 X
動作設	定起動条件設定						
	デザガス設定						
	参加局	AGP1	<b>▼</b>	機器名	PLC1	•	
	デバイスアドレス/ シンボル・グループ	設定値	•	デバイス数	1	÷	
	データタイプ	16ビット(符号付き)					
	<ul> <li>デバイスアドレス/シ:</li> <li>記動元局名を付加</li> </ul>	ンボル名を付加する する	* (3	不連続なメモ t、グループシン	リのデータを指定す ンボルを使用してく	する場合 だざい。	

11) [ロギング]の[起動条件]の空白行をクリックし、設定済みの起動条件「帳票を作成する」を選 択します。



12) [OK] ボタンをクリックします。

以上で、「設定値」エリアの内容設定が終了しました。

7「実績値」エリアの設定を行います。



設定項目	設定内容
参加局	AGP1
機器名	PLC1
デバイスアドレス / シンボル・グループ	実績値
対象セル範囲	$F4 \sim F23$
ロギング方向	縦
タイムスタンプ	つけない
セルがいっぱいになった時の動作	スクロール

1) 5の手順1)~12)と同様の操作を繰り返し、上記内容を設定します。

以上で、帳票テンプレートの内容設定は終了しました。

**8**『Excel』を終了します。

Microsoft Excel - template.xlt					
MS Pゴシック • 11 • B Z U		i ∰ %,		🔄 • 🕭 • 🗛 ·	
図 ファイル(F) 編集(E) 表示(M) 挿入(P) 書式	t@ ツール(	D データ( <u>D</u> ) ウイン	ドウ(W) ヘルプ(H) 4	dobe PDF( <u>B</u> ) Exce	ーー ロアクション(A
□ 新規作成(N) Ctrl+N	<b>–</b>				
Ctrl+O □ Ctrl+O					
	. p	D	E	F	G
L書き保存(S) Ctrl+S	-4	管理板			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
2 ブラウザでプレビュー(B)	7285	計量法請	势宁储	宝结结	L.
3 ページ設定(U)	1011	미 또/자료	以た吧	大快吧	
	•				
- <sup>C</sup> (日) (円) Ctrl+P 7					
· 送信(D)	•				
9 <u>1</u> ¥Documents and¥convert_D02.xls					
1C <u>2</u> ¥Documents and¥convert_D01.xls					
11 <u>3</u> ¥Documents and Settings¥¥000.xls					
12 <u>4</u> ¥Documents and Setti¥template.xit	<b></b> _				
13 終了公					
16					

9 下記の確認画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。

EXCEL帳票	厚アクション - 終	7の確認		×
2	テンプレートへの	変更を保存して	編集作業を終了	しますか?
(	tton J	いいえ( <u>N</u> )	キャンセル	]

10「Excel で帳票を作成」画面で、[OK] ボタンをクリックします。

ー出力ファイル テンプレートファイル 表示されます。	こは設定情報が保存されます。実際の出力結	果は下記のファイルに			
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrato	r¥デスクトップ 参照			
ファイル名	計量データxls	デフォルトに戻す			
☑ 出力ファイルを表示した状態から開始する ☑ アクション実行時、出力ファイルの保存を実行しない。 ☑ 〈Excelの上書き保存、自動保存の機能を使用してください。〉					
		ОК <b>Т</b>			

## ■ アクション動作局/処理完了通知の設定

アクションが動作する局名、およびアクションが実行されたことの通知の有無を設定します。



1「アクション名 / パラメータの設定」画面で、「次へ」ボタンをクリックします。

アクション名/パラメータの設定
新規にアクションを追加します。 アクション名を指定し、パラメータを設定してください。
アクションの種類 EXCEL帳票
🔲 旧バージョンのPro-Serverのアクションを表示する
アクション名 帳票作成
ここをクリックしてアクションの パラメータを設定してください。

2 [動作局] のリストボタンをクリックし、アクションが動作する局名「PC1」を選択します。

アクション動作局/処理完了通知設定	×
アクションの種類EXCEL帳票	
アクション名 帳票作成	
実際にアクションが動作する動作局(Pro-Server EX)を指定してくださ 「動作局	()o
PC1 PC1 受合通知あり アクションの実行をしらせるデバイスを指定してください。 アクション実行後、Onします。	

3 [受信通知あり] がチェックされている場合は、チェックを外します。

PC1	×
「「愛信通知で 」 「アクション」 アクション	刻 の実行をしらせるデバイスを指定してください。 実行後、Onします。
	機器名
	#INTERNAL
	通知先デバイス
	データタイプ ビット



4 [完了] ボタンをクリックします。

「アクション動作局 / 処理完了通知設定」画面が閉じ、画面左に、設定したアクション名が表示されます。

☆ Pro-Studio EX ファイル(E) 編集(E)	<mark>?.npx</mark> ) ツール(I) プログラ				
م ۱-ور 💴	> 🔪 参加局				
<u>追加</u>	インポート				
<ul> <li>▲ 桃葉作氏数</li> <li>→ 左助条件</li> <li>■ 、 転勤条件</li> <li>■ 、 ボータ転送</li> <li>■ ・ デバイスキャッシュ</li> </ul>					

以上で、アクション動作局および処理完了通知の設定が終了しました。

#### ■ 設定内容の確認

設定内容の一覧画面で、設定した内容を確認します。

• Excel 帳票アクションの場合、「アクション別の起動条件 / 処理一覧」から起動条件の追 MEMO 加、編集、削除を行うことはできません。変更を行う場合は、[パラメータ設定] ボタ ンをクリックし、[テンプレートの編集] で Excel 上で変更を行ってください。

1 画面左のツリー表示から、アクション名「帳票作成」をクリックします。

🎕 Pro-Studio EX	?.npx				
_ファイル(E) 編集(E	) ツール( <u>T</u> ) プログラ				
م-ور 🔰	• 🔪 参加局				
追加	インポート				
編集	削除				
<ul> <li>アウンコン</li> <li>アウンコン</li> <li>加速(市)</li> <li>起動条件</li> <li>デーク転送</li> <li>デバイスキャッシュ</li> </ul>					

設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

ラミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)	
🅦 🍐 シンボル 😕 襓 機能 ≫ 📄 保存 과 😫	¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥
┌アクション別の起動条件/処理一覧 ────	アクション
追加 編集 解除	アクションの削除
データ元局 AGP1	■ 帳票作成 📃 👤
記動条件 3600000msの周期で <sub>データ</sub>	名前の変更
	EXCEL帳票
	パラメータ設定
	▶ 朝作局 PC1

2 画面左のツリー表示から、起動条件名「帳票を作成する」をクリックします。

饕 Pro-Studio EX	?.прх				
ファイル(E) 編集((	E) ツール(I) プログ:				
1 xy-h	>> 🔪 参加局				
追加	インポート				
編集	肖刂除				
<ul> <li>アクション</li> <li>▲ 帳票作成</li> <li>● ▼ <del>起動条件</del></li> <li>● ▼ <del>起動条件</del></li> <li>● 「一 少転送」</li> <li>● デバイスキャッシュ</li> </ul>					

設定した内容が、画面右に表示されていることを確認します。

						_ 🗆 ×
ミング補助(P) 設定(5) ヘルプ(H)						
🅦 눧 シンボル 😕 襓 機能	» 🔡	保存 >		🄰 転送		大況監視
起動条件	]	起重	操	件別シー	ケンス図	
修要大作式 <b>人</b>		縮小表示		ד	クション/デー!	R車式送
	機能名	元		先	受信/処理	完了通知
参加局 [AGP1	- 帳票作成	AGP1.#L.	->	PC1.帳		
3600000ms()))周期(C"						

以上で、設定内容の確認が終了しました。
### ■ ネットワークプロジェクトファイルの保存

設定した内容を、ネットワークプロジェクトファイルとして保存し、『Pro-Server EX』にリロードします。

ネットワークプロジェクトファイルの保存については、「第24章 保存について」をご覧ください。



 ネットワークプロジェクトファイルの『Pro-Server EX』へのリロードは必ず行ってくだ さい。リロードを行わないとアクションが動作しません。

#### 設定例

- ネットワークプロジェクトファイルのパス : デスクトップ¥report.npx
- タイトル : EXCEL 帳票アクション

### ■ テスト読み出し

作成したネットワークプロジェクトファイルを参加局に転送する前に、設定が正しく行われているか どうかを確認することができます。

アクション実行時には、出力ファイルに読み出されますが、テスト読み出しはテンプレートファイル に反映されます。

- MEMO ・ テスト読み出しは、必ずしも行って頂く必要はありません。 テスト読み出しを行わない場合は、「■ネットワークプロジェクトファイルの転送」へ お進みください。
- 重要・テスト読み出しを行うには、作成したネットワークプロジェクトファイルがロードされた『Pro-Server EX』が起動している必要があります。
- 1 [機能] ボタンをクリックします。
- 2 画面左のツリー表示から Excel 帳票アクションをクリックし、[編集] ボタンをクリックします。
- **3**「アクション名 / パラメータの設定」画面で、[ここをクリックしてアクションのパラメータを設定してください。] ボタンをクリックします。
- 4「Excel で帳票を作成」画面で [テンプレートの編集] ボタンをクリックします。

5 アクションエリアを選択した状態で [テスト読込み] アイコンをクリックします。



テンプレート上に、設定した内容で読み出しが行われます。

MEMO ・ テスト読み出しの制限事項については、「5.8 制限事項」をご覧ください。

### ■ ネットワークプロジェクトファイルの転送

保存したネットワークプロジェクトファイルを参加局に転送します。 ネットワークプロジェクトファイルの転送については、「第25章 転送について」をご覧ください。

**MEMO** • ネットワークプロジェクトファイルの転送は、必ず行ってください。転送を行わないと アクションが動作しません。

### ■ アクションの実行

ネットワークプロジェクトファイルを転送した時点で、アクションが動作して帳票(ファイル名: 「計量データ.xls」)が開き、ロギングデータが1時間間隔で設定した場所に書き込まれることを確認 します。

(mail a se						
Micro	osoft Excel - 計並ナーダ.xls					
77	イル(E) 編集(E) 表示(⊻) 挿入(	⊉ 書式(型) ツール(]	D データ( <u>D</u> ) ウィント	でし ヘルプ(円) A	idobe PDF( <u>B</u> )	
MS P	ゴシック • 11 • В 2	. n ≣ ≣ ≣	፼ \$ % ,	108 +08 🗊 🗊	🔄 - 🕭 - 🗛 -	• .
Ĺ	L21 • =		I	I		
A	В	С	D	E	F	G
1	Excel26 計量	景データ	管理版			
			百年初			
2						
з	日時	タンク名称	計量液種	設定値	実績値	
4	2006/4/30 10:00	タンクA	溶液1	120.0	123.0	
4	2006/4/30 10:00 2006/4/30 11:00	タンクA タンクA	<u>溶液1</u> 溶液1	120.0 240.0	123.0 246.0	
4 5 6	2006/4/30 10:00 2006/4/30 11:00 2006/4/30 12:00	タンクA タンクA タンクA	溶液1 溶液1 溶液1	120.0 240.0 360.0	123.0 246.0 369.0	
4 5 6 7	2006/4/30 10:00 2006/4/30 11:00 2006/4/30 12:00	タンクA タンクA タンクA	溶液1 溶液1 溶液1	120.0 240.0 360.0	123.0 246.0 369.0	
4 5 6 7 8	2006/4/30 10:00 2006/4/30 11:00 2006/4/30 12:00	タンクA タンクA タンクA	溶液1 溶液1 溶液1	120.0 240.0 360.0	123.0 246.0 369.0	
4 5 6 7 8 9	2006/4/30 10:00 2006/4/30 11:00 2006/4/30 12:00	タンクA タンクA タンクA	溶液1 溶液1 溶液1	120.0 240.0 360.0	123.0 246.0 369.0	

MEMO • エラーが発生した場合、ログビューアでログを確認することができます。詳細について は、「27.5 システム稼動ログが見たい!」をご覧ください。

以上で、このアクションの説明は終了です。

## 5.1.2 設定ガイド

この節では、アクションのパラメータのくわしい設定のしかたについて説明します。

## ■「Excel で帳票を作成」画面

Excel で帳票を作成			
		Version	1.10
- テンフレートの指定			
	のテンプレートファイル名を指定してくたざい 合は、テーマテンプレートファイルがこの名	。 前でコピーされます。	
テンプレートを新規作成	する場合は、そのファイルの名前を指定して	てください。	
	r	<u>+ 97</u>	-1
テンプレートファイル	1	<u></u>	
	テンプレートの編集		
「出力ファイルーーーー			
テンプレートファイルに 表示されます。	は設定情報の1米存されます。 実際の出力結	課は下記のファイルに	
フォルダ名	C:¥Documents and Settings¥Administrate	or¥デスクトップ 参照	
ファイル名	Report_%Y%M%D.xls	デフォルトに戻す	
▶ 出力ファイルを表示	した状態から開始する		
アクション実行時、出力ファイルの保存を実行しない。			
' (Excelの)上書さ1条4	そ、目動1米14の機能を使用してくたさい。)		
		OK キャンセル	

設定項目		設定内容
テンプレート	テンプレート ファイル	Excel テンプレートの場所を指定します。 [参照] ボタンをクリックし、「ファイルの選択」ダイアログでテンプ レートの場所、およびファイル名を設定します。
0112	テンプレートの 編集	Excel テンプレートが表示されます。 Excel テンプレート上でデータの読み出し/書き込み条件を設定します。
出力ファイル	フォルダ名	データの読み出し/書き込みを行った Excel ファイルの出力先フォルダ を指定します。 [参照] ボタンをクリックし、「フォルダの参照」ダイアログで出力ファ イルの場所を設定します。
	ファイル名	出力ファイルのファイル名を設定します。 デフォルトは「Report_%Y%M%D.xls」が設定されています。 MEMO ・「%Y%M%D」には、「年/月/日」が設定されます。
	デフォルトに戻 す	ファイル名を変更している場合、デフォルトの「Report_%Y%M%D.xls」 に戻します。

設定項目		設定内容
		出力ファイルを表示した状態で、データの読み出し/書き込みを開始し ます。
出力ファイル	出力ファイルを 表示した状態か ら開始する	<ul> <li>MEMO</li> <li>Excel 上にボタンを配置し、これを起動条件としてアクションを実行する場合は、必ずチェックを入れてください。</li> <li>起動条件ボタンの詳細については、「5.6 帳票に起動ボタンを配置したい!」をご覧ください。</li> </ul>
	アクション実行 時、出力ファイ ルの保存を実行 しない。	アクション実行時に出力ファイルの自動保存を行いません。出力ファイ ルを保存する場合は、Excelのメニューから行ってください。 重要 ・ Pro-Server EX』や『Excel』が何らかの理由で異常終了した場合、出 カファイルが保存されずに内容が失われることがあります。通常はこ の項目にチェックを付けないことをおすすめします。

- ■「デバイスロギング」画面
  - 「動作設定」タブ



設定項目		設定内容		
		データのロギングを行うデバイン MEMO ・[…] ボタンをクリックすると す。 ・「(起動元局)」を選択すると、 となります。	スを持つ参加局を選択します。 、参加局の追加または検索が行えま その起動要因となった参加局が対象	
デバイス設定	参加局	起動要因	対象となる参加局	
		起動条件が成立	(Pro-Server EX 局以外)	
		起動ボタンをクリック	ボタンをクリックした Pro-Server EX 局	
		ユーザープログラムから直接 起動	ユーザープログラムを動作させて いる Pro-Server EX 局	

設定項目		設定内容
	機器名	<ul> <li>データのロギングを行うデバイスを持つ接続機器を選択します。</li> <li>MEMO</li> <li>参加局が GP シリーズ局および Pro-Server EX 局の場合、設定する必要はありません。</li> </ul>
デバイス設定	デバイスアドレス / シンボル・グ ループ	対象となるデバイスアドレスまたはシンボルを設定します。 ・ デバイスアドレスを指定する場合 電卓アイコンから直接入力します。 <b>電卓アイコン</b> デバイスアドレス/ ジンボル・ヴループ リストボタンをクリックしてシンボルを選択します。 リストボタン
	データタイプ	[…] ボタンをクリックし、データタイプを選択します。 デバイスアドレスを直接入力した場合のみ設定できます。
	デバイス数	ロギングを行うデバイスの個数を設定します。 デバイスアドレスを直接入力した場合のみ設定できます。 MEMO ・シンボルを指定した場合は、自動的に設定されます。 ・[データタイプ] で「文字列」を指定した場合は、この設定項目の 名称が[文字数] に変わります。

設定項目		設定内容			
		<ul> <li>ロギングデータが書き込まれた Excel セルの隣のセルに、デバイスアドレス/シンボル名/グループシンボル名を書き込みます。</li> <li>この場合、データのロギング方向によって、デバイスアドレス/シンボル名/グループシンボル名が表示されるセルが変わります。</li> <li>ロギング方向 表示セル位置</li> </ul>			
		ŕ	従	値の上側のセル	
		村	黄	値の左伯	則のセル
デバイス設定	デバイスアドレス / シンボル名を付 加する	<ul> <li>例)</li> <li>デバイスアドレ 「縦」の場合</li> <li>9:00:01</li> <li>9:00:02</li> <li>9:00:03</li> <li>デバイスアドレ</li> </ul>	vス「D100」、デバ D100 マス「D100」、デバ	バイス数「3」、書 D101 バイス数「3」、書	き込みパターン D102 き込みパターン
		「横」の場合			
			9:00:01	9:00:02	9:00:03
		D100			
		D101			
		D102			
		-			
	起動局名を付加す る	アクションの起動 みます。	1要因となった参加	11局の局名を、セ	:ルの先頭に書き込

設定項目		設定内容
レイアウト設定	対象セル範囲	設定されているセルの範囲が表示されます。         セル範囲を変更する場合は、ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。         マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。         MEMO         • セルの指定範囲は、行:1~65536、列:1~256 です。         • マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。Excel 画面をクリックし、「範囲指定」画面でセル範囲を入力したあと [OK] ボタンをクリックします。         ・ 1501 行以上のセル範囲を指定して状だい。         ・ 1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲の左上のセルのみ指定されているように表示されます。         ・ 1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲の左上のセルのみ指定されているように表示されます。         ・ 1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲の左上のセルのみ指定されているように表示されます。         ・ 1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲のを上のセルのみ指定されているように表示されます。
	ロギング方向	<ul> <li>アータのロギンク万向(縦または横)を設定します。</li> <li>MEMO</li> <li>「レイアウト設定」で設定した内容の書き込みイメージが、[サンプル]に表示されます。</li> </ul>
	ロギング数	ロギング数が、設定したセル範囲から自動的に設定され表示されま す。

設定項目		設定内容
レイアウト設 定	タイムスタンプ	<ul> <li>ロギングデータの先頭に、データが書き込まれた時刻を付加します。</li> <li>つけない</li> <li>時刻情報を付加しません。</li> <li>前に</li> <li>ロギングデータの先頭に時刻情報を付加します。</li> <li>後ろに</li> <li>ロギングデータの最後尾に時刻情報を付加します。</li> <li>時刻情報は次の2種類から選択できます。リストボタンをクリックして指定します。</li> <li>GPの時間を使用する</li> <li>PCの時間を使用する</li> </ul>
	セルとセルの間に 挿入する空白セル の数	複数のセルヘデータを書き込む場合に、挿入する空白セル(データと データの間に挿入する空白のセル)の数を設定します。 行または列で個別に設定できます。
読込み時デバイ 列に置換する	ス値を特定の文字	読み込んだデバイス値を文字列に変換します。 チェックすると、「文字列置換テーブル設定」画面が表示されます。 詳細については、「・「文字列置換テーブル設定」画面」をご覧ください。
セルがいっぱいになった時の動作		<ul> <li>ロギングデータで指定したセルがいっぱいになった場合の動作を設定します。</li> <li>クリア後上書き</li> <li>ロギングセルをクリアし、最初からロギングを続けます。</li> <li>スクロール</li> <li>スクロールしてロギングを続けます。</li> <li>改シート</li> <li>新しいシートに切り替えてロギングを続けます。そのシートに出力されているすべての機能が新しいシートに切り替わります。</li> <li>ループ</li> <li>ロギングセルをクリアせず、最初からロギングを続けます。</li> </ul>
シート作成時指定されたセル範囲 をクリアしてからはじめる		テンプレートファイルからシートをコピーする時に、セル範囲にデー タが書き込まれている場合は、これらを削除してから処理を開始しま す。

• 「起動条件設定」タブ

新作品中 (記動条件設定)
取消 FBQLE     REMOVED FBQLE       アクション エリア番号     0       指定された起動方法(条件かボタン)が成立した時に、このエリアの動作を実行します。起動方法を設定して(ださい。       新しい起動条件     新しい起動ボタン       ロギング     レTの条件成立時にセルをクリアする       編集     削除       超動条件     *

設定項目	設定内容	
アクション エリア番号	各アクションエリアに対する、テンプレートごとに割り付けられた番号が表示されます。	
新しい起動条件	「起動条件設定」画面が表示されます。 新しい起動条件を設定する場合にクリックします。	
<b>新しい起動ボタン</b> 「起動ボタン」画面が表示されます。 詳細については、「5.6.2 設定ガイド」をご覧ください。		
	データロギングを行う起動条件を選択します。 空白行の[起動条件]をクリックしたあと、リストボタンをクリックすると、登 録済みの起動条件が表示されます。	
ロギング	<ul> <li>MEMO</li> <li>・起動条件を複数指定した場合、どれか一つでも成立するとアクションを実行します。</li> <li>・[編集] ボタンをクリックすると、選択した起動条件の編集ができます。</li> <li>・[削除] ボタンをクリックすると、選択した起動条件を解除します。</li> </ul>	

設定項目	設定内容
	ロギングエリアのデータクリアを行う起動条件を選択します。 空白行の [起動条件] をクリックしたあと、リストボタンをクリックすると、登 録済みの起動条件が表示されます。
以下の条件成立時にセ ルをクリアする	<ul> <li>MEMO</li> <li>・起動条件を複数指定した場合、どれか一つでも成立するとアクションを実行します。</li> <li>・「編集」ボタンをクリックすると、選択した起動条件の編集ができます。</li> </ul>
	• [削除] ボタンをクリックすると、選択した起動条件を解除します。

• 「文字列置換テーブル設定」画面

文字列置換テーブル設定 デバイス値を特定の文字列に置換するためには、その置換 ルールを記載した変換テーブルが必要です。 そのテーブルの格納場所を指定してください。	×
テーブルが格納されているExceびック	
テーブルが格納されているセル〈テーブルの左上 セル〉 Sheet A1 <u>I</u> A1	
OK キャンセル	

設定項目	設定内容
テーブルが格納されて いる Excel ブック	文字列置換テーブルが格納されている Excel ブックを指定します。 [] ボタンをクリックし、「ファイルを開く」画面で指定します。
テーブルが格納されて いるセル	文字列置換テーブルが格納されているブック名およびテーブルの左上の番号を指 定します。 ボタンをクリックし、「セル指定」画面でテーブルの左上のセル番号を入力しま す。 セル指定 ?× 変換テーブルの左上セルをひとつだけ指定してください。 OK キャンセル

文字列置換の詳細については、「■データの文字列置換について」をご覧ください。

### ■ データの文字列置換について

「Excel 帳票」アクションでは、デバイスデータを Excel セルに書き込む場合に、数値のデータを文字 列に置き換えて書き込む機能があります。

この機能を使用する場合、あらかじめ文字列置換ルールを設定した置換テーブルを作成し、任意の場 所に保存しておく必要があります。

文字列置換テーブルの例

	A	В	С	D
1	開始値	終端値	文字列	
2	0		ボルト	
3	1		ナット	
4	2		ビス	
5	100		水量低下	
6	101		水量オーバー	
7	102		電圧低下	
8	103		電圧オーバー	
9	500	599	赤	
10	600	699	青	
11	700		郗录	
12	ELSE		その他	
13				

• 「開始値」

デバイスデータを比較する開始値を設定します。

ここで設定した比較開始値以外の値を設定する場合は、「ELSE」と設定します。

「終端値」

デバイスデータを比較する終端値を設定します。

「文字列」

置換する文字列を設定します。

置換は、デバイスデータを置換テーブルの上の行から順番に比較し、成立すればその行の文字列の値 がセルに書き込まれます。

成立しない場合は、開始値が空白または「ELSE」が見つかるまで検索します。

「ELSE」行を見つけた場合、「ELSE」行の文字列がセルに書き込まれます。

「ELSE」が存在しない場合は、読み出した値がそのままセルに書き込まれます。

空白行を見つけた場合、比較元の値がそのままセルに書き込まれます。

置換のための比較方法は次の通りです。

#### (1) データが数値の場合

①開始値のみ設定されている場合、開始値とデバイスデータが一致していれば文字列に変換します。
 ②開始値と終端値の両方が設定されている場合、開始値≦データ<終端値の範囲内であれば文字列に</li>
 置換します。

③終端値のみ設定されている場合、空白行とみなし比較を終了します。比較元の値がそのままセルに 書き込まれます。

④開始値、終端値とも文字列が設定されている場合、比較の対象とせず無視します。

⑤データ型が16ビット(符号付き)などの場合は、整数値をテーブルに記載します。

例) 1,2,3•••••10,11

⑥データ型が HEX の場合は、16 進数の数値をテーブルに記載します。

#### 例) 1,2,3,•••••a,b,•••••f,10,11,•••••1a,1b

#### (2) データが文字列の場合

開始値と一致していれば文字列に変換します。終端値は無視されます。

変換を行う場合には、文字列だけでなく、セルの書式設定がそのまま出力ファイルへ反映されます。 このため、あらかじめテンプレートファイルに設定された書式(罫線を除く)は上書きされます。置 換機能を使用していない場合は、セルの書式設定は保持されます

なお、文字列内にデバイス値置換マクロ文字(%DEVICE\_VALUE%)が埋め込まれている場合は、デバイス値が文字列に変換されます。

#### ■ アクションエリアー覧について

指定したアクションエリアの一覧を表示して、すばやく確認や編集を行うことができます。

**1** Excel メニューバーの [Excel アクション]の [アクションエリア一覧] をクリックします。

① ウィンドウW) ヘルプ(H) Exce	IPからション(A)
☞ % , % # # 倖 · # テ 』 Σ ∱ 負 員 Ш ♥ ※ レ	バイス ワンショット エリア(M) バイス ロギング エリア(L) シピ エリア(R)
💕 G	P内ログデータ エリア(U)
Dox.FormRangeInfo.1 ", j 🌉 👯	
E 6 #	
	クションエリア一覧の
ji ii	11℃ 11℃ リアを表示する(①)
	ージョン情報( <u>A</u> )

**2** 確認したいアクションエリアをクリックします。

<b>アクションエリアー覧</b> AREA0(\$B\$4\$C\$23) ロギング AREA1(\$D\$4\$D\$23) ロギング AREA2(\$E\$4\$E\$23) ロギング AREA3(\$F\$4\$F\$23) ロギング
<ul> <li>現在アクティブなシートに含まれているアクションエリアのみ表示する。</li> </ul>
閉じる

クリックしたアクションエリアが表示されます。

- ・現在表示しているシートのみのアクションエリアを表示する場合は、[現在アクティブ なシートに含まれているアクションエリアのみ表示する]のチェックボックスをクリッ クし、チェックマークを入れます。
  - ・項目をダブルクリックすると、選択したアクションエリアの編集画面が表示されます。
     すぐに編集ができて便利です。

3 [閉じる] ボタンをクリックし、選択したアクションエリアの確認や編集を行います。

# 5.2 帳票に日付/時刻を書き込みたい!

### 5.2.1 帳票に日付/時刻を書き込んでみよう!

帳票の指定したセルに、現在の日付および時刻を書き込めます。

**1** Excel テンプレートの [特殊 エリア] アイコンをクリックします。

Microsoft Exce	l - template2.	яlt							_ 🗆 🗵
] 🖲 ファイル(E) 編	集(E) 表示(⊻)	挿入① 書:	式(Q) ツール( <u>T</u>	) データ( <u>D</u> ) 「	ケインドウ(W) - ^	、ルプ( <u>H</u> ) Adob	be PDF( <u>B</u> ) Ex	ccelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
] 🗅 😂 🖬 🔒	🖨 🗟 💖	X 🖻 🖪	10 v 🍓	∑ f <sub>≈</sub> <mark>≵</mark> ↓	🛍 🛛 🙄	MS Pゴシック	- 11	• B	* <mark>  ™</mark> *
] 🤀 🗗 👋 💕	XL 🗖 🖉	iii 💅 💅	<b>ئے</b> ا						
A1	hà.	=							
A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J
1	1								
2	Ī								
1 2						<u>u</u>		1	

2 [機能の種類] のリストボタンをクリックし、[日付/時刻の表示] を選択します。

<mark>編</mark> 特殊	. 🗆 🗙
動作設定 起動条件設定	
機能の種類 日付/4時刻の表示 日間/2時初の表示 した、年間の表示 現在時刻をセルに、 た動のもの	
\$A\$1	
現在時刻を求めるのに利用する時計	
◎ GPの日付/時間 参加局 (起動元局) <u></u>	
○ PCの日付/時間	

3 内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容の詳細については、「5.2.2 設定ガイド」をご覧ください。

5.2.2 設定ガイド

■「動作設定」タブ

<mark>鷋</mark> 特殊					
動作設定起動条件設定	1				
機能の種類	日付/時刻の表示 💌				
現在時刻をセルに書	書込みます。				
	\$A\$1				
現在時刻を求めるの	Dに利用する時計				
ⓒ GPの日付/時間	参加局	(起動元局)	<b>•</b>		
○ PCの日付/時間					
				ОК	キャンセル

設定項目	設定内容
機能の種類	設定する機能の種類を選択します。 • 日付 / 時刻の表示 • セル矢印の表示 (「5.3 帳票に矢印を書き込みたい!」) • 起動元局 (「5.4 帳票に起動元局名を書き込みたい!」)

設定項目	設定内容
	日付/時刻を書き込むセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。
	<ul> <li>MEMO</li> <li>セル範囲として複数のセルを選択した場合、日付/時刻は左上のセルのみに書き込まれます。</li> <li>セルの指定範囲は、行:1~65536、列:1~256です。</li> <li>マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。</li> <li>Excel 画面をクリックし、「範囲指定」画面でセル範囲を入力したあと [OK] ボタンをクリックします。</li> </ul>
対象セル範囲	<ul> <li>第回指定</li> <li>第回指定してください。</li> <li>第451</li> <li>OK キャンセル</li> <li>1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲の左上のセルのみ指 定されているように表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>         A B C      </li> <li>         O△管理板      </li> <li>         O△○○○○○○○△△△△      </li> <li>         O○○○○○○○△△△△      </li> <li>         O○○○○○○△△△△      </li> <li>         O○○○○○○○△△△△      </li> <li>         O○○○○○○△△△△      </li> <li>         File         </li> <li>         File         </li> <li> </li> <li>         File         </li> <li>         File      </li> <li>         File         File      </li> <li>         File     </li> <li>         File      </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li> <li>         File     </li></ul>
GP の日付 / 時間 PC の日付 / 時間	指定した局の日付・時刻を書き込みます。 • GPの日付/時間 GPの日付・時刻を書き込みます。 この場合、リストボタンをクリックして参加局を指定します。 • PCの日付/時間 アクションが動作しているパソコンの日付・時刻を書き込みます。

■「起動条件設定」タブ

為 特殊
動作設定起動条件設定
アクション エリア番号 指定された起動方法(条件かボタン)が成立した時に、このエリアの動作を実行します。起動方法を 設定してください。
新しい起動条件 新しい起動ボタン
■ 起動条件 米 ■
複数指定した場合、どれか1つでも成立すると実行します。
より複雑な処理をおこなう場合はメニューの[ExceIPクション]-[実行順序一覧]で設定 してください。
 OK キャンセル

設定項目	設定内容
アクション エリア番号	各アクションエリアに対する、テンプレートごとに割り付けられた番号が表示されます。
新しい起動条件	「起動条件設定」画面が表示されます。 新しい起動条件を設定する場合にクリックします。
新しい起動ボタン	「起動ボタン」画面が表示されます。 詳細については、「5.6.2 設定ガイド」をご覧ください。
	書き込みを行う起動条件を選択します。 空白行の[起動条件]をクリックしたあと、リストボタンをクリックすると、登 録済みの起動条件が表示されます。
読込み	<ul> <li>MEMO</li> <li>・起動条件を複数指定した場合、どれか一つでも成立するとアクションを実行します。</li> <li>・[編集] ボタンをクリックすると、選択した起動条件の編集ができます。</li> <li>・[削除] ボタンをクリックすると、選択した起動条件を解除します。</li> </ul>

# 5.3 帳票に矢印を書き込みたい!

### 5.3.1 帳票に矢印を書き込んでみよう!

帳票の指定したセルに、範囲などを示すための矢印を書き込めます。

**1** Excel テンプレートの [特殊 エリア] アイコンをクリックします。

Mie	crosoft Excel	- template2.	xlt							_ D ×
1817	ファイル(Ĕ) 編集	ŧŒ) 表示(V)	挿入① 書詞	弐( <u>O</u> ) ツール( <u>T</u>	) データ( <u>D</u> ) 「	ケインドウ(W) 🗸	、ルブ( <u>H</u> ) Adob	be PDF( <u>B</u> ) Ex	ccelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
] 🗅 🕻	🛎 🖪 🔒 📕	🖴 🔍 🖤	አ 🖻 🖪	10 v 🍓	Σ ƒ <sub>≈</sub> <mark>≜</mark> ↓	🛍 🝳 🔋	MS Pゴシック	<b>-</b> 11	• B	* <mark>  ™</mark> *
🤬 (	🕫 👋 👩 🖇	🍇 🕏 🔗	iii 💕 💅	<sup>•</sup> 📩						
	A1 🕒	13 <b>9</b>	=							
	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J
1										
2										
3										

2 [機能の種類] のリストボタンをクリックし、[セル矢印の表示] を選択します。

<mark>貓 特殊</mark>	
動作設定 起動条件設定	
機能の種類 日付/4時刻の表 日 <del>付/4時刻の表</del> 記した単の表示 現在時刻をセルに <mark>4起動元局</mark>	
\$A\$1	
現在時刻を求めるのに利用する時	st 🛛
● GPの日付/時間 参加	局(起動元局)
○ PCの日付/時間	

3 内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容の詳細については、「5.3.2 設定ガイド」をご覧ください。

5.3.2 設定ガイド

<mark>縋</mark> 特殊	_ 🗆 ×
動作設定起動条件設定	
機能の種類 セル矢印の表示 ▼	
データセル設定	
<mark>データ軸セル <sup> </sup>\$C\$1 ■ ■</mark> 目盛り	
目盛り、開始値 終了値は1セルで指定してくだ 5 35	
矢印の設定	
100 E	
実線/点線	
29111	
■ ビル大中を歌示9の際に、玩に表示されている大中を削加していた表示90。	
OK	キャンセル



設定	定項目	設定内容					
		<ul> <li>セル矢印の位置は、Excelのセル書式の設定に準じます。</li> <li>書式設定が「左寄せ」になっている場合は、そのセルの左端を開始位置とし、「右寄せ」になっている場合は、そのセルの右端を開始位置とします。</li> <li>書式設定が「左寄せ」、「中央」、「右寄せ」以外の場合は、「中央」 揃えで表示されます。</li> </ul>					
矢印表示セル範囲		日盛り 開始値 終了値 10 20 30 大部の書式設定を中 央揃えにした場合					
		開始値 終了値 10 20 30 ぜいの書式設定を左 揃えにした場合					
		開始値     終了値     10     20     30       10     20     30					
矢印の向き		書き込む矢印の向きを「横矢印」、「縦矢印」のいずれかから選択します。					
	データ軸セル	<ul> <li>矢印を書き込む時の基準値となるデータが格納されている先頭のセルを指定します。</li> <li>「データセル設定」で設定した内容の書き込みイメージが、画面右に表示されます。</li> </ul>					
データセル設定	開始データセル	<ul> <li>矢印の開始値のデータが格納されている先頭のセルを指定します。</li> <li>MEMO</li> <li>・開始値が目盛りで指定された範囲外の場合、矢印は書き込まれません。</li> </ul>					
	終了データセル	<ul> <li>矢印の終了値のデータが格納されている先頭のセルを指定します。 ボタンをクリックすると、Excel上でセル範囲を選択できます。</li> <li>マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。</li> <li>MEMO</li> <li>データ個数は開始値の個数と同じにしてください。</li> <li>終了値が目盛りで指定された範囲外の場合、矢印は書き込まれません。</li> </ul>					

設定	定項目	設定内容
	太さ	矢印の太さ(mm)を設定します。
	実線 / 点線	矢印の線種を設定します。
矢印の設定	色	矢印の色を設定します。 「色の設定」画面で設定したあと、[OK] ボタンをクリックします。
	スタイル	矢印のスタイルを設定します。
セル矢印を表示す されている矢印を する。	「る際に、既に表示 注削除してから表示	矢印を表示する時に、すでに表示されている矢印を削除してから表 示します。

# 5.4 帳票に起動元局名を書き込みたい!

### 5.4.1 帳票に起動元局名を書き込んでみよう!

帳票の指定したセルに、起動元局の局名を書き込めます。 起動元局とは、起動条件が成立した参加局のことです。

**1** Excel テンプレートの [特殊 エリア] アイコンをクリックします。

Microsoft Excel - template2.xlt										
18) 7	ァイル(E) 編集	≹(E) 表示(⊻)	挿入① 書詞	€( <u>0</u> ) ツール( <u>T</u>	) データ( <u>D</u> ) ウ	ケンドウ(W) へ	いパ( <u>H</u> ) Adob	e PDF( <u>B</u> ) Ex	ccelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
0	≇ 🖪 🔒 🖌	🖨 🔍 🚏	አ 🖻 🖻	10 v 🍓	Σ ƒ <sub>≈</sub> <mark>≜</mark> ↓	🛍 🝳 🐫	MS Pゴシック	<b>•</b> 11	• B	* 🔁 *
🤬 (	19 👋 💅 💈	🍇 🗖 🔗	¥ 💕 💣	11 I						
	A1 🗸		=							
	A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J
1										
2										
3										

2 [機能の種類] のリストボタンをクリックし、[起動元局] を選択します。

<mark>縋</mark> 特殊				
動作設定 起動条件設定				
機能の種類 日 現在時刻をセルは	す/時刻の表示 〒/時刻の表示 大日の表示 初元局 \$A\$1			
現在時刻を求めるのに	利用する時計			
◎ GPの日付/時間	参加局	(起動元局)	<b>.</b>	
○ PCの日付/時間				

3 内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容の詳細については、「5.4.2 設定ガイド」をご覧ください。

# 5.4.2 設定ガイド

<mark>縋</mark> 特殊	
動作設定 起動条件設定	
機能の種類	
起動元局の局名をセルに書込みます。	
対象セル範囲 👫 👫 📑	R.
	OK ++>セル

設定項目	設定内容
設定項目 対象セル範囲	設定内容 局名を書き込むセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。 MEMO ・セル範囲として複数のセルを選択した場合、局名は左上のセルのみに書き込まれます。 ・セルの指定範囲は、行:1~65535、列:1~256です。 ・マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。Excel 画面 をクリックし、「範囲指定」画面でセル範囲を入力したあと [OK] ボタンをクリックし ます。
	<ul> <li>         ・ 第回指定         ・ ?         ×         ・         ・         ・</li></ul>

設定項目	設定内容							
	• 1501 行以上のセル範囲を指定した場合、表示上は選択範囲の左上のセルのみ指定されているように表示されます。							
	A B C							
対象セル範囲								
	8							
	9							
	11							
	<ul> <li>指定したセル範囲(アクションエリア)を確認するための便利な機能があります。</li> <li>「5.1.2 設定ガイド」の「■アクションエリア一覧について」をご覧ください。</li> </ul>							

# 5.5 アクション動作(帳票作成)の順序を整理したい!

### 5.5.1 アクション動作の順序を整理してみよう!

Excel 帳票アクションや Excel 操作機能(改シートや新規ブックなど)の実行順序を指定することができます。

アクションの内容は1~40まで表示でき、順序の入れ替えや編集、削除も行えます。

例として、設定されている複数のアクションの実行順序を変更する方法について説明します。

**1** Excel テンプレートの [実行順序一覧] アイコンをクリックします。

Mie Mie	rosoft Excel	- template2.	xlt							_ 🗆 ×
1817	ァイル(E) 編算	集(E) 表示(⊻)	挿入① 書:	王)ルーツ ( <u>O</u> )汚	) データ( <u>D</u> ) 「	ケインドウ(W) - ^	、ルプ( <u>H</u> ) Adob	e PDF( <u>B</u> ) Ex	celアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
] 🗅 🕻	ž 🔒 🍰	a 🖤	አ 🖻 🖻	10 v 😫	Σ ƒ <sub>*</sub> ੈ	🛍 🝳 💐	MS Pゴシック	- 11	• B	* 🔁 *
6	P 👋 🞷 🕯	X 🛃 🖉	¥ 💕 🖸	È 茸						
	A1		=							
	A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J
1		]								
2		[								

2 実行順序「1」のアクション名をクリックした後、ボタンをクリックし、一番最初に実行するアクションを選択します。

実行順	序一覧					_ 🗆 ×	
起動条件	拝成立時実行 │;	起動ボタンクリ	リック時実行│別アプリケーションからま	行]			
起動条件が成立するとアクションを実行します。							
	新しい起動条 集   挿入	:件 クリア	実行するアクションエリアもしくはE:	celの操作コマンドを実行する順番	身に並べてください。		
	起動条件	1	2		3	4	
1	起動条件1	AREA	0(\$A\$2) ワンショット:読込み 🔽 🗛	el操作機能 FAN(\$A\$2) ロンジョット	REA2(\$E\$4) レシピ:レシピの書込み		
*			(AT				
			AF	EA2(\$E\$4) レンヒ EA0(\$A\$2) ワンショッ念読込み			
			_				
./ *	起動条件1	AREA	0(\$A\$2) ワンショット読込み V Ex AF AF	el操作概能 EAUGA&2 ワンショット EAUGA&2 ワンショット EAUGA&3 ロギング EAUGA&2 ワンションで読込み	REA2(\$E\$4) レシピ:レシピの書込み		

3「実行内容選択」画面で、アクションの種類を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

実行内容選択	
アクションエリア番号	2
<ul> <li>○ レシピの書込み動作をおこなう</li> <li>● 実績値読込みの動作をおこなう</li> </ul>	
	ОК <b>+</b> +>±и

実行順序「1」のアクション名が、選択したアクション名に変わります。

実行順序一覧			_ 🗆 >				
起動条件成立時実行   起動ボタンクリ	ック時実行 別アプリケーションから実行						
	起動条件が成立するとアクションを実行	します。					
新しい起動条件         実行するアクションエリアもしくはExcelの操作コマンドを実行する順番に並べてください。           編集         挿入         クリア							
起動条件 1		3	4				
	?(\$E\$4) レシピ:実績値の読 💌 <mark>4</mark> REA1 (\$C\$3) ロギング:ロギン	グ AREA2(\$E\$4) レシピ:レシピの書込み					
*							

**4** 同様に、他の実行順序のアクション名をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。 設定内容の詳細については、「5.5.2 設定ガイド」をご覧ください。

## 5.5.2 設定ガイド

### ■「起動条件成立時実行」タブ

起動条件が成立したときに実行されるアクションもしくは Excel 操作機能の順序を表示します。 起動条件別にアクションの内容が1~40まで表示されます。

	戶一覧					_ 🗆			
加条件	成立時実行│起	動ボタンク	リック時実行 別アプリケーション	から実行					
記動条件が成立するとアクションを実行します。									
	新しい起動条件	+	実行するアクションエリアもし	Kは Excelの操作コマンドを実行する』	順番に並べてください。				
編集	長   挿入   -	クリア							
	起動条件	1		2	3	4			
► 	起動条件1	AREA	40(\$A\$1) ワンショット読込み	AREA1 (\$D\$9) ロギング:ロギング	AREA2(\$D\$4) レシビ:レシビの書込み				
*									
1						•			
						×			
1		_				×			

設定項目	設定内容
新しい起動条件	「起動条件設定」画面が表示されます。 新しい起動条件を設定する場合にクリックします。
編集	起動条件を選択した状態で[編集]ボタンをクリックすると、起動条件を編集することができます。 また、実行するアクションもしくは Excel 操作機能を選択した状態で[編集]ボタンをクリックすると、各編集画面が表示されます。
挿入	空白セルが挿入され、アクションもしくは Excel 操作機能を指定することができます。
クリア	表示されている起動条件の行の内容を削除します。
起動条件	起動条件名が表示されます。 起動条件を変更する場合、起動条件名をクリックし、リストボタンで起動条件を 選択します。
	アクションもしくは Excel 操作機能の内容が実行順(1~40)に表示されます。 順序を変更する場合、アクションもしくは Excel 操作機能をクリックし、リスト ボタンから選択します。
実行順序(1 ~ 40)	<ul> <li>MEMO</li> <li>「Excel 操作機能」をクリックすると、「Excel 操作機能設定」画面が表示されます。</li> <li>詳細については「■「Excel 操作機能設定」画面」をご覧ください。</li> </ul>

## ■「起動ボタンクリック時実行」タブ

作成した起動ボタンをクリックしたときに実行されるアクションもしくは Excel 操作機能の順序を表示します。

起動ボタン別にアクションの内容が1~40まで表示されます。

由冬花	[序一覧 4成立時実行 [記]	紡ポタングリ	ッ切時実行 コロマクリケー・ションかる	(実行)		_ [
/Jan 1	TAXES SET 1		起動ボタンがクリックさ	れたとき、アクションを実行しま	tす。	
ر م	新しい起動ボタン	/	実行するアクションエリアもしくは	tExcelの操作コマンドを実行する順番に	並べてください。	
19983	* 19/				10	
•	記動ボタン Button1	AREA	)(\$A\$1) レシピ・レシピの書込み	Z AREA1(\$B\$3) ワンショット:読込み	。 AREA2(\$B\$8) ロギング:ロギング	4
*						
1						

設定項目	設定内容
新しい起動ボタン	「起動ボタン」画面が表示されます。 新しい起動ボタンを設定する場合にクリックします。
編集	起動ボタンを選択した状態で[編集]ボタンをクリックすると、起動ボタンを編 集することができます。 また、実行するアクションもしくは Excel 操作機能を選択した状態で[編集]ボ タンをクリックすると、各編集画面が表示されます。
挿入	空白セルが挿入され、アクションもしくは Excel 操作機能を指定することができます。
クリア	表示されている起動ボタンの行の内容を削除します。
起動ボタン	起動ボタン名が表示されます。 起動ボタンを変更する場合、起動ボタン名をクリックし、リストボタンで起動ボ タンを選択します。
	アクションもしくは Excel 操作機能の内容が実行順(1~40)に表示されます。 順序を変更する場合、アクションもしくは Excel 操作機能をクリックし、リスト ボタンから選択します。
実行順序(1 ~ 40)	<ul> <li>MEMO</li> <li>「Excel 操作機能」をクリックすると、「Excel 操作機能設定」画面が表示されます。</li> <li>詳細については「■「Excel 操作機能設定」画面」をご覧ください。</li> </ul>

## ■「別アプリケーションから実行」タブ

ユーザープログラムから Excel 帳票アクションへコマンドを送ることでアクションを実行させること ができます。

このコマンドを送ったときに実行されるアクション(ロギングやレシピ機能など)または Excel 操作 機能の順序を表示します。

起動コマンド別にアクションの内容が1~40まで表示されます。

í7.0	序一覧				_ [
加条件	成立時実行  記載	hボタンクリック時実行 別アプリケーションが	実行		
		- ザープログラムからコント・をマク	ションに送ることにより マカシュ	い友実行します	
	-				
編集	■ 挿入 ┃	クリア   実行するアクションエリアもしくは	Excelの操作コマンドを実行する順番に	並べてください。	
	おもうマンド	  1	2	3	4
•	ABC		AREA1(\$B\$3)ワンショット:読込み	апеа2(\$B\$8) Пギング:Пギング	
*					
1					Þ
1					Þ
1					Þ

設定項目	設定内容	
編集	実行するアクションもしくは Excel 操作機能を選択した状態で[編集] ボタンを クリックすると、各編集画面が表示されます。	
<b>挿入</b> 空白セルが挿入され、アクションもしくは Excel 操作機能を指定するこ。 ます。		
クリア	表示されている起動コマンドの行の内容を削除します。	
起動コマンド	ユーザープログラムで作成した起動コマンドを入力します。 例)以下の API 関数を使用して Excel 帳票アクションへコマンドを送ることがで きます。 "ABC"が起動コマンドに相当します。 WriteDeviceStr("PC1","Action1","ABC",5)	
実行順序(1 ~ 40)	<ul> <li>アクションもしくは Excel 操作機能の内容が実行順(1~40)に表示されます。 順序を変更する場合、アクションもしくは Excel 操作機能をクリックし、リスト ボタンから選択します。</li> <li>MEMO</li> <li>「Excel 操作機能」をクリックすると、「Excel 操作機能設定」画面が表示されま す。 詳細については「■「Excel 操作機能設定」画面」をご覧ください。</li> </ul>	

■「Excel 操作機能設定」画面

Excel操作機能設定	
<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>	C シート印刷 シート名 sheet1
○ 新規ブック	
○ ブック表示	○ ブック非表示
〇 ブック印刷	C Excel終了
○ マクロ実行	
○ エクスポート	
ファイル名	Report_%Y%M%D%n.csv 初期値へ戻す
保存フォルダ	
保存形式	CSV(.csv)
	アクションレポートを除く最後のページのみを エクスポートします。
	O HTML(.htm)
	OK キャンセル

設定項目	設定内容			
	指定されたシートをテンプレートから新しくコピーします。			
	МЕМО			
改シート	<ul> <li>シート名に以下の文字は使用できません。</li> <li>"'"、"="、"+"、"-"、"!"、"/"、"¥"、" "</li> </ul>			
	<ul> <li>「デバイスワンショット」などで書き込みを行っているセルをデータセルとして指定している場合、改シートを実行すると新しいシートのセルを見ることはできません。</li> </ul>			
シート印刷	テンプレートファイルで、最後に出力したシートを印刷します。 [シート名]に、印刷の対象となるテンプレートシートを選択します。			
新規ブック	新規にテンプレートブックをコピーした出力ブックを作成します。			
ブック表示	出力ブックを表示します。			
ブック非表示	出力ブックを非表示にします。			
ブック印刷	出力ブック内のアクションレポートシート以外の全シートを印刷します。			
Excel 終了	現在表示中の Excel を終了します。			
	マクロを実行します。 テキストボックスに実行するマクロ名を入力します。			
マクロ実行	МЕМО			
	<ul> <li>マクロ名に以下の文字は使用できません。</li> <li>","、"="、"+"、"-"、"."、"/"、"¥"、" "</li> </ul>			

設定項目	設定内容
エクスポート	指定した形式でデータをエクスポートします。 エクスポートするファイル名、保存フォルダ、保存形式(CSV または HTML)を 指定します。 MEMO ・ファイル名に以下の文字は使用できません。 ","、"="、"+"、" - "、"."、"/"、"¥"、" "

# 5.6 帳票に起動ボタンを配置したい!

#### 5.6.1 帳票に起動ボタンを配置してみよう!

Excel上にボタンを配置し、これを起動条件としてアクションを実行させることができます。

MEMO ・ 起動ボタンで実行できるアクションは、「Excel 帳票」アクションのみです。

- ・起動ボタンにより、Excelを終了させたり、新規ブックを開いたりすることはできません。
  - Excel の [ウィンドウ枠の固定]の設定について、固定のウィンドウに起動ボタンは配置 できますが、スクロールできるウィンドウには配置しないでください。
  - Excel の [分割]の設定について、分割されたウィンドウに起動ボタンは配置しないでく ださい。

**1** Excel テンプレートの [起動条件をボタン化] アイコンをクリックします。

Mi	crosoft Excel	- template2.	xlt							_ 🗆 ×
	ファイル(E) 編集	帳(E) 表示(⊻)	挿入① 書詞	₹( <u>0</u> ) ツール( <u>T</u>	) データ( <u>D</u> ) r	ケンドウ(W) ^	ルプ( <u>H</u> ) Adot	be PDF( <u>B</u> ) Ex	ccelアクション( <u>A</u> )	_ 8 ×
	🛩 🖬 🔒	a 🕵 🛒	🔏 🖻 🖻	10 v 🍓	$\Sigma f_{\mathbf{x}} \stackrel{\mathbf{A}}{\geq} \downarrow$	🛍 🝳 🐫	MS Pゴシック	• 11	• B	* 🔁 🕈
-	🗗 👋 🞷 🎖	🛍 🕳 🖉	iii 💕 💅	· 茸						
	A1	- Ld	)=							
	Α	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J 🔺
1										
2										
<b>1</b> 2									-	

「起動ボタン」画面が表示されます。

🧬 起動ポタン		X
起動ボタン名	Button1	
ボタンのキャプション	Excel Form Action	
	〇K キャンセル	

2 内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容の詳細については、「5.6.2 設定ガイド」をご覧ください。
# 5.6.2 設定ガイド

🦸 起動ボタン		x
起動ボタン名	Button1	
ボタンのキャプション	Excel Form Action	
	OK キャンセル	

設定項目	設定内容					
起動ボタン名	設定内容 『Pro-Studio EX』上で起動ボタンを識別する名称を設定します。 以下のように実行順序一覧画面などに表示されます。					
	*					
ボタンのキャプション	配置するボタンの上に表示する銘板を設定します。					

MEMO	• アクションを実行させるときは、ボタンが配置されている出力ファイルが開いている必
-	要があります。「Excel で帳票を作成」画面の、「出力ファイルを表示した状態から開始
	する」にチェックを入れてください。

日本
に
、
出力ファイルを表示した状態から開始する

Excel への出力中は、起動ボタンを押すことができません。アクション処理が終了する と、起動ボタンは有効になります。

# 5.7 帳票に QC 図を配置したい!

# 5.7.1 帳票に QC 図を配置してみよう!

Excel テンプレート上にパレート図や散布図などの QC 図を配置できます。

**1** Excel の [QC 図] アイコンをクリックします。

Mi	crosoft Excel	- template2.	xlt									_ 🗆	×
	ファイル(Ĕ) 編集	賬(E) 表示(⊻)	挿入Φ	書式(2) ツー	·ル(T)	データ( <u>D</u> )	ウィンドウ(W)	ヘルプ( <u>H</u> ) Ad	obe PDF( <u>B</u> ) B	Excelアクション	/( <u>A</u> )	_ 8	×
] 🗅 ı	🖻 🖬 🔒	a 🖏 🖉	👗 🖻 I		🔒 Σ	f∗ ≵	🛍 🛛 🖇	∫ MS Pゴシック	7 • 1	1 • B	ΙÜ	≣	» •
	e 👋 🕫	<b>U</b> 🖉 🖉	<u>щ</u>	1									
	A1		= 1							_			_
	A	В	С	D		E	F	G	Н	I		J	
1												- I	
2													
-													

「QC図」画面が表示されます。

QC🖾	×
ー グラフ種類 作成するグラフの種類を追	躍んでください。
○ 散布図	· A 22 .
© ヒストグラム	
ОК	キャンセル

2 内容を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

設定内容の詳細については、「5.7.2 設定ガイド」をご覧ください。

MEMO	•	Microsoft Ex	cel	2002]	以降の製品	で本機能を使用する場合、	制限事項があります。
		詳細について	には	、「5.8	制限事項」	をご覧ください。	

5.7.2 設定ガイド

■「QC 図」画面



設定項目	設定内容
グラフ種類	作成するグラフの種類を選択し、[OK] ボタンをクリックします。 作成できるグラフの種類は以下の通りです。 ・パレート図 ・散布図 ・ヒストグラム

■「パレート図作成」画面

パレート図作成		X
ー 入力データーーーー ラベル範囲:		<b>.</b>
データ範囲:		<b>.</b>
- 出力設定 出力先開始セル:		<b>.</b>
ー 表示グラフ設定 グラフタイトル:		
強調表示: ● 80% □ 比率1%未満の項	まで 〇 上位3項目 泪を1つに纏める	∃ ○ なし
ОК		91

Ē	设定項目	設定内容
		入力データに対する、データ項目のラベルのセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。
入力データ	ラベル範囲	<ul> <li>MEMO</li> <li>セルの指定範囲は、行:1~1500、列:1~256です。</li> <li>マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。「入力」画面でセル範囲を入力したあと[OK] ボタンをクリックします。</li> </ul>
	データ範囲	入力データのセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。
出力設定	出力先開始セル	グラフが参照する参照領域を指定します。
	グラフタイトル	作成するグラフのタイトルを入力します。
表示グラフ     下記の項目を強調して表       表示グラフ     80% まで       強調表示     単位三項目       上位三項目     上位三項目を強調表示し       ・なし     強調表示を行いません。		<ul> <li>下記の項目を強調して表示します。</li> <li>80%まで</li> <li>累積率80%内に含まれる主要な項目を強調表示します。</li> <li>上位三項目</li> <li>上位三項目を強調表示します。</li> <li>なし</li> <li>強調表示を行いません。</li> </ul>
表示グラフ 設定	比率 1% 未満の項 目を1つに纏める	比率1%未満の項目を、「その他」という1つの項目に纏めます。

■「散布図作成」画面

散布図作成	×
入力データ	
Yの値(単一行または列):	
- 表示グラフ設定 グラフタイトル:	
ОК	キャンセル

設定	項目	設定内容
	X の値	入力データのX軸値のセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。
		<ul> <li>MEMO</li> <li>・セルの指定範囲は、行:1~1500、列:1~256です。</li> <li>・複数行または列を指定した場合は 単一行または列がグラフのデー</li> </ul>
		タとなります。 ・マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもで きます。「入力」画面でセル範囲を入力したあと[OK] ボタンをク リックします。
	Y の値	入力データのY軸値のセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。
		МЕМО
		<ul> <li>セルの指定範囲は、行:1~1500、列:1~256です。</li> <li>複数行または列を指定した場合は、単一行または列がグラフのデータとなります。</li> <li>マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。「入力」画面でセル範囲を入力したあと [OK] ボタンをクリックします。</li> </ul>
表示グラフ設定	グラフタイトル	作成するグラフのタイトルを入力します。

# ■「ヒストグラム図作成」画面

ヒストグラム図作成	x
入力データ データ範囲: ■	- 出力設定 出力先開始セル:
- 最小値	- 最大値
● 自動	☞ 自動
〇 指定:	○指定:
- 階級数	- 表示グラフ設定
●自動	\$1N/2
〇 指定:	緑取り: 💿 なし 🔿 あり
	OK キャンセル

設定項目		設定内容				
入力データ データ範囲		<ul> <li>入力データのセル範囲を指定します。 ボタンをクリックすると、Excel 上でセル範囲を選択できます。 マウスをドラッグしてセル範囲を選択します。</li> <li>MEMO <ul> <li>セルの指定範囲は、行:1~1500、列:1~256です。</li> <li>マウスドラッグの代わりに、セル範囲を入力して指定することもできます。「入力」画面でセル範囲を入力したあと[OK] ボタンをクリックします。</li> </ul> </li> </ul>				
出力設定	出力先開始セル	グラフが参照する参照領域を指定します。				
最小値		対象となるデータの数値の範囲を指定します。 • 自動 指定した入力データの最小値を使用します。 • 指定 テキストボックスに入力された数値を使用します。				
最大値		対象となるデータの数値の範囲を指定します。 • 自動 指定した入力データの最大値を使用します。 • 指定 テキストボックスに入力された数値を使用します。				
階級数		表示する区間の数を指定します。 • 自動 スタージュの法則(1+3.3*LOG10(データ数)、小数点以下は四捨五入) から階級数を求めます。 • 指定 テキストボックスに入力された数値を使用します。				
	タイトル	作成するグラフのタイトルを入力します。				
表示グラフ 設定	縁取り	「あり」を選択した場合、ヒストグラムに表示される棒グラフに縁を付け ます。 階級数が少ない場合、グラフが見やすくなります。				

# 5.8 制限事項

■『Microsoft Excel 2002』以降の製品をご使用の場合

『Microsoft Excel 2002』以降の製品で本機能を使用する場合、以下の手順で、ウィンドウのチェック ボックスをチェックしてください。

①メニューバーの [ツール] → [マクロ] → [セキュリティ] を選択します。

- ②「セキュリティ」画面の[信頼のおける発行元]タブをクリックします。
- ③ [Visual Basic プロジェクトへのアクセスを信頼する] をチェックします。

セキュリティ	? ×
セキュリティ レベル 信頼のおける発行元	
Adobe System Inc.	<u>_</u>
	*
,	 削除(R)
▶ 組み込み済みのアドインとテンプレートをす	べて信頼する( <u>A</u> )
Visual Basic プロジェクトへのアクセスを信	頼する( <u>()</u>
ウィルス検出プログラムがインストールされていませ	:huo
ОК	キャンセル

チェックしていない場合は、以下の機能使用時にエラーが発生します。

- $[\mathcal{Y} \mathcal{I}\mathcal{V}] \rightarrow [QC \boxtimes]$
- パレート図などのツールが使用できません。
- [ツール] → [サンプルの挿入]

帳票テンプレートが使用できません。

# ■ セルの結合について

結合されたセルについては、アクションエリアを設定しないでください。 例えば、以下のようなセルに対してアクションエリアを設定した場合、編集時や実行時の動作につい ては保証いたしません。

	A	В	С	D
1	D1 00	D1 01	D1 02	D1 03
2				
3				
4				
5				
6				
7				

# ■ 貼り付けたアクションエリアが重なる場合について

大きさの異なるアクションエリアを重ねて貼り付けた場合、読み出し/書き込み順序は、貼り付けた 順で行われます。

### ■ Action Report シートについて

本アクションは出力ブックを作成する時、出力ブック中に「Action Report」という名前のシートを自動的に追加します。

この Action Report シートには、本アクションが出力ブックにどのようにデータを出力したかの最新の 記録が、常に記載されています。処理の進み具合などを確認するときの参考にしてください。

また、本アクションは出力ブックが一度クローズし、再オープンされた時、Action Report シートの記 録を元に続きの動作を行います。

Action Report シートの内容を書き換えると、本アクションが正常に動作しないなどの不具合の原因に なりますので、不用意に書き換えないように注意してください。

# ■ エラーが発生した場合におけるアクションエリアの動作について

「デバイス ロギング」機能において実際に書き込み・読み込みを行った場合で、アクション エリアの 範囲をはみ出た場合は、以下の共通の動作を行います。

1) テスト読み込み・テスト書き込み時

エラー画面が表示されます。

2) アクションをランタイムで動作させる場合

『Pro-Server EX』のログビューアにアクションのエラーとして記録されます。

#### ■ デバイスワンショット・レシピの書き込み動作について

「デバイスワンショット」、「レシピ」で、セルの値を書き込む場合に、セルの中身が空白だった場合は、数値型である場合は0が、文字列型である場合は空白が書き込まれます。

また、データタイプが文字列の場合、書き込み対象となるセルの書式設定を"文字列"に設定してい ない場合に正しく書き込まれない場合があります。

この場合、あらかじめ書式設定を"文字列"に変更しておく必要があります。

### ■ Excel のウィンドウサイズについて

アクションエリアの設定画面を開いたとき、Excel のウィンドウサイズはかならず通常サイズになり ます。(最大化していた場合は、通常サイズに戻ります。)また、Excel のユーザ対話モードが無効に なるため、この間は Excel に対して操作ができなくなります。

また、設定画面は、Excelの後ろに隠れてしまった場合、画面およびタスクトレイのウィンドウが点滅し、ユーザーに通知します。点滅は、設定画面が前面に出てくると自動的に停止します。

#### ■ アクション エリアのグループ化について

アクション エリアはグループ化できません。グループ化した場合、セル範囲の管理などが正しく行われません。また、アクション エリアはグループ解除しないでください。

#### ■ アクション エリアの行、列を削除した場合について

アクションエリアが存在する行または列を削除した場合、オブジェクトの位置関係の設定により、ア クションエリアが線状になることがあります。このような状態になってもアクションエリアは存在 するため、起動条件が成立した場合アクションエリアは実行されます。

オブジェクトの位置関係は以下の操作で表示できます。

右クリック→オブジェクトの書式設定→プロパティ→オブジェクトの位置関係

ここで、「セルにあわせて、移動やサイズ変更をする」を選択している場合に上記の現象が発生しま す。

アクションエリアの操作に関しては、一般的な Excel のオートシェイプの操作に準じます。

#### ■ アクション エリアのコピーまたはカット アンド ペーストの制限について

アクションエリアを Ctrl+C & Ctrl+V や Ctrl+X & Ctrl+V でペーストした場合、複製後のアクションエ リアに対して [対象セル範囲]を指定してください。

ペースト直後のアクションエリアは、元のアクションエリアと同じ[対象セル範囲]を保持していま す。

	A	В	С	D
1				
2	T			
3				
4				
5				
6				
7				

#### ■ アクション エリアの Ctrl+ ドラッグによるコピーの制限について

通常、Ctrl+C & Ctrl+V のようにアクションエリアをコピーした場合、そのアクションエリアを移動 することにより、常にセルへ吸着し続けます。

但し、OCX と Excel の制限事項のため、Ctrl+ ドラッグによりコピーした場合、これに制限事項が追加されます。この場合、Ctrl+ ドラッグ直後のアクションエリアは、セルへ吸着しません。また、移動を行った場合も同様です。

これは、このアクションエリアが、Excel 帳票作成アドインの制御下におかれていないため発生しま す。このアクションエリアが、Excel 帳票作成アドインの制御下に置かれるタイミングは以下の3つ になります。

- ・保存時
- ・設定画面オープン時(該当するアクションエリアのみ)
- ・「実行順序一覧」画面オープン時

上記の3つの操作のうち、どれかが実行されると、アクションエリアはセルへ吸着し、以降の操作でも吸着し続けます。なお、この制限事項はアクションエリアだけでなく、Sheetのドラッグ&コピー時も同様です。

#### ■ テスト読み出しで実行されない機能について

テスト読み出し時には、以下の機能は実行されません。

- ●デバイスロギング
  - ・「起動元局名を付加する」
  - ・「タイムスタンプ」(PC時間は可能)
  - ・「セルがいっぱいになった時の動作」
  - ・「シート作成時指定されたセル範囲をクリアしてからはじめる」
- ●特殊-「日付/時刻の表示」
  - ・「GPの日付/時間」(PCの日付/時間は可能)
- ●特殊-「セル矢印の表示」

・「セル矢印を表示する際に、既に表示されている矢印を削除してから表示する」

●特殊-「起動元局」

#### ■ 表示中の出力ブックを閉じてしまった場合

Excel 帳票アクションの出力ブックをついうっかり閉じてしまった場合、以下の手順で出力ブックを 起動させてください。

ドラッグ&ドロップなどで起動させると、読み取り専用になってしまい、起動ボタンなども動作しな くなってしまいます。

1. 出力ブックをダブルクリックしてください。

2. 以下のダイアログが表示されるので"いいえ"を選択して出力ブックを起動します。

Microsoft	Excel
į	Report_20060401.xls(は既に聞いています。2 重に聞くと、これまでの変更内容は破棄されます。Report_20060401.xls を聞きますか?

#### ■ 受信通知について

Excel 帳票アクションでは、アクションが完了したことを示す受信通知を設定することができません。

#### ■ 起動元局の設定について

Excel 帳票アクションの設定画面において、参加局に「起動元局」と設定した場合、参加局タイプや 接続機器が不明となります。

そのため、デバイスアドレスが赤字で表示されますが問題ありません。

# ■ 出力ファイルの編集について

Excel 帳票アクションが実行している間は、出力ファイルを編集することができません。このため、 短い周期で起動条件が成立するような設定の場合、Excel 自体が非常に操作しにくくなります。 また、出力ファイルを編集中にアクションが実行されるとエラーメッセージが表示されます。



#### ■ Excelの自動保存機能について

Excel の自動保存機能は、Excel の制限のため動作しません。自動保存が必要な場合は、以下の手順で Excel 保存マクロを作成し、作成した保存マクロをアクションで実行します。

1 自動保存したいテンプレートを『Pro-studio EX』で開きます。

Excel で帳票を作成	
	Version 1.10
「テンプレートの指定―――	
- 帳票の元となる、Excelのテンプレートファイル名を指定してください。	+
テンプレートを新規作成する場合は、そのファイルの名前を指定してください。	.90
ー テンプレートファイル C <sup>i</sup> Documents and Settings #Administrator #デスクトップ #	参照
テンプレートファイルには設定情報が保存されます。実際の出力結果は下記のファイ	กมะ
表示されます。	
フォルダ名 C <sup>*</sup> Documents and Settings*Administrator*デスクトップ	参照
ファイル名 Report_%Y%M%DxIs デフォル	小に戻す
▶ 出力ファイルを表示した状態から開始する	
□ アクション実行時、出力ファイルの保存を実行しない。 □ (Evenin トまき保存、自動保存の機能を使用してください、)	
ОК	キャンセル

2 メニューの「ツール」から「マクロ」→「新しいマクロの記録」を選択します。

· ツール(T) データ(D) ウィンド	rj∭	ヘルプ( <u>H</u> ) Exce	eIアクション( <u>A</u> )		[
■ 💱 スペル チェック(S) F	7 ;	양 🚛 🚛	- 🎝 - 🖊	<u> </u>	
オートコレクト( <u>A</u> )	ZI	4 <b>0 0</b> 100			
	- 4*			]	
- 変更履歴の作成(T)	•				
_ ブックの結合( <u>W</u> )					
(保護( <u>P</u> )	•	G	Н	Ι	
- オンライン グループ作業(N	> ▶				
シナリオ( <u>E</u> )					
ワークシート分析(世)	•				
- マクロ(M)		マクロ(M)		Alt+E8	
アドインΦ		新しいマクロの語	記録(8) 🔪		
ユーザー設定( <u>C</u> )	C	ヤキュリティ(S).	. 43		
オプション( <u>0</u> )	<u>,</u>	Visual Basic	Editor (V)	Alt+F11	
	🐖	Microsoft Scr	ipt Editor( <u>E</u> )	Alt+Shift+F11	
	_				

**3** マクロ名「Save」を入力し [OK] ボタンをクリックします。 マクロの記録が始まります。

マクロの記録	? ×
マクロ名(M):	
Save	
ショートカット キー(近): マクロの保存先の:	
Ctrl+ 作業中のブック	•
.   .   1111  1111  1111  1111  1111  1111  1111	
マクロ記録日:200*/*/** ユーザー名:*****	
1	
	キャンセル

4メニューの「ファイル」から「上書き保存」を選択します。 上書き保存がマクロに記録されます。



5メニューの「ツール」から「マクロ」→「記録終了」を選択します。 マクロの記録が終了します。



6 メニューの「Excel アクション」から「実行順序一覧」を選択します。



7 自動保存する起動条件を作成します。

8 作成した起動条件を選択し、「Excel 操作機能」を選択します。

実行順序一覧				<u>_</u> D×
起動条件成立時実行   起動ボタンク	リック時実行 別アプリケーションから実行			
	起動条件が成立するとアク	ションを実行しま	す。	
新しい起動条件 編集 挿入 クリア	実行するアクションエリアもしくはExcelの操作	キコマンドを実行する順	番に並べてください。	
起動条件 1	<u>2</u>	4	5	6
Trigger1	▼ Excel操作機能			
1				
			OK	キャンセル

9「マクロ実行」を選択し、マクロ名「Save」を入力します。

Excel操作機能設定						-	
○ 改シート	Οv	一卜印刷	シート	名	sheet1		
○ 新規ブック							
○ ブック表示	○ ブ:	灼非表示					
〇 ブック印刷	⊖ Ex	cel終了					
<ul> <li>マクロ実行</li> </ul>	ļ	Save					
○ エクスポート							
ファイル名		Report_%Y9	6M%D%n	.csv		初期値/	戻す
保存フォルダ							
保存形式	(	CSV(.c	sv)				
		アクショ エクスポ	ンレポー  ートしま	トを除く す。	最後のペ	ニージのみを	È
	ć	) HTMLC	ntm)				
			Ok	(	*	ャンセル	

10 [OK] ボタンをクリックします。

- 11 テンプレート編集を終了します。
- 12 設定内容を保存 / リロードします。 作成した起動条件にしたがって、自動保存が実行されます。